

平成28年度
石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査等
に関する検討調査業務

報 告 書

平成29年3月

医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ

目 次

1 . 調査目的.....	1
2 . 試行調査の実施結果等を踏まえた検討.....	1
2.1 調査内容.....	1
2.1.1 平成 27 年度に実施した試行調査の結果の取りまとめ	1
2.1.2 試行調査から得られた課題の分析及び今後の対応方針に関する検討.....	1
2.1.3 意見交換会の開催.....	1
2.1.4 自治体からの意見の聴取.....	1
2.1.5 保健指導講習会の開催.....	1
2.1.6 読影講習会の開催.....	1
2.1.7 保健指導マニュアルの作成.....	2
2.1.8 肺がん検診・職域検診の実態調査.....	2
2.1.9 石綿ばく露者等に対する健康診断の実態調査.....	2
2.2 調査結果.....	3
2.2.1 平成 27 年度に実施した試行調査の結果の取りまとめ	3
2.2.2 試行調査から得られた課題の分析及び今後の対応方針に関する検討.....	3
2.2.3 意見交換会の開催.....	6
2.2.4 自治体からの意見の聴取.....	6
2.2.5 保健指導講習会の開催.....	7
2.2.6 読影講習会の開催.....	7
2.2.7 保健指導マニュアルの作成.....	8
2.2.8 肺がん検診・職域検診の実態調査.....	8
2.2.9 石綿ばく露者等に対する健康診断の実態調査.....	45
3 . 転居した者を対象とする調査.....	47
3.1 調査内容.....	47
3.2 調査結果.....	47
4 . まとめ及び今後の課題.....	71
4.1 試行調査の実施結果等を踏まえた検討.....	71
4.2 転居した者を対象とする調査.....	71

巻末資料

- ・ 保健指導マニュアル
- ・ 文献概要
- ・ 調査説明書、申請書、同意書、受診券、問診票、読影チェックシート、検査結果通知書

1. 調査目的

環境省では、「石綿の健康リスク調査」により得られた知見に基づき、「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」(以下「試行調査」という。)を実施している。平成 28 年度は、試行調査の開始から 2 年目となることから、初年度の実施状況をレビューするとともに、今後の調査の方向性について検討することを目的とする。

また、平成 23 年 6 月に石綿健康被害救済制度について取りまとめられた中央環境審議会の答申(「石綿健康被害救済制度の在り方について(二次答申)」)において、過去に石綿健康リスク調査の調査対象地域に居住していたもののすでに遠方に移住した者(以下「転居者」という。)をなるべく多く含めた形で調査を行うべきことが指摘されたため、平成 24 年度から転居者を対象とした調査を実施しており、その円滑な実施方法について検討することを目的とする。

2. 試行調査の実施結果等を踏まえた検討

2.1 調査内容

2.1.1 平成 27 年度に実施した試行調査の結果の取りまとめ

平成 27 年度に環境省が 9 地域¹⁾の地方公共団体に委託して実施した試行調査の報告書をもとに、調査結果の概要資料を取りまとめた。

取りまとめに当たっては、環境省ホームページに掲載されている過去の取りまとめ資料を参照した。報告書のデータや記載内容について地方公共団体に確認する必要がある場合には、電話、電子メールにより確認した。

2.1.2 試行調査から得られた課題の分析及び今後の対応方針に関する検討

平成 27 年度に実施した試行調査から得られた課題を分析し、今後の対応方針について検討した。

2.1.3 意見交換会の開催

有識者 5 名からなる「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査に関する意見交換会」を開催し、試行調査の実施状況のレビュー、平成 29 年度以降の取組について検討した。

2.1.4 自治体からの意見の聴取

自治体担当者からなる「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査に関する関係自治体担当者会議」を開催し、試行調査の実施状況のレビュー、平成 29 年度以降の取組について検討した。

2.1.5 保健指導講習会の開催

試行調査における保健指導の円滑な実施を目的に、横須賀市立うわまち病院三浦溥太郎氏を講師として、試行調査関係自治体の保健師を対象に保健指導講習会を開催した。

2.1.6 読影講習会の開催

試行調査における画像読影の円滑な実施を目的として、試行調査関係自治体が推薦する読影

¹⁾ 大阪府泉南地域(岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町)、大阪市、東大阪市、堺市、八尾市、和泉市及び河内長野市、奈良県、横浜市鶴見区、羽島市、尼崎市、西宮市、芦屋市、北九州市門司区、鳥栖市

医を対象に読影講習会を開催した。

2.1.7 保健指導マニュアルの作成

試行調査における円滑な保健指導の実施を目的として、保健指導マニュアル作成委員会を開催し、保健指導マニュアルを作成した。

2.1.8 肺がん検診・職場検診の実態調査

各自治体の肺がん検診・職場検診の実施状況について実態調査を行った。

2.1.9 石綿ばく露労働者等に対する健康診断の実態調査

これまでに行われてきた石綿ばく露労働者等に対する健康診断の実施状況について実態調査を行った。

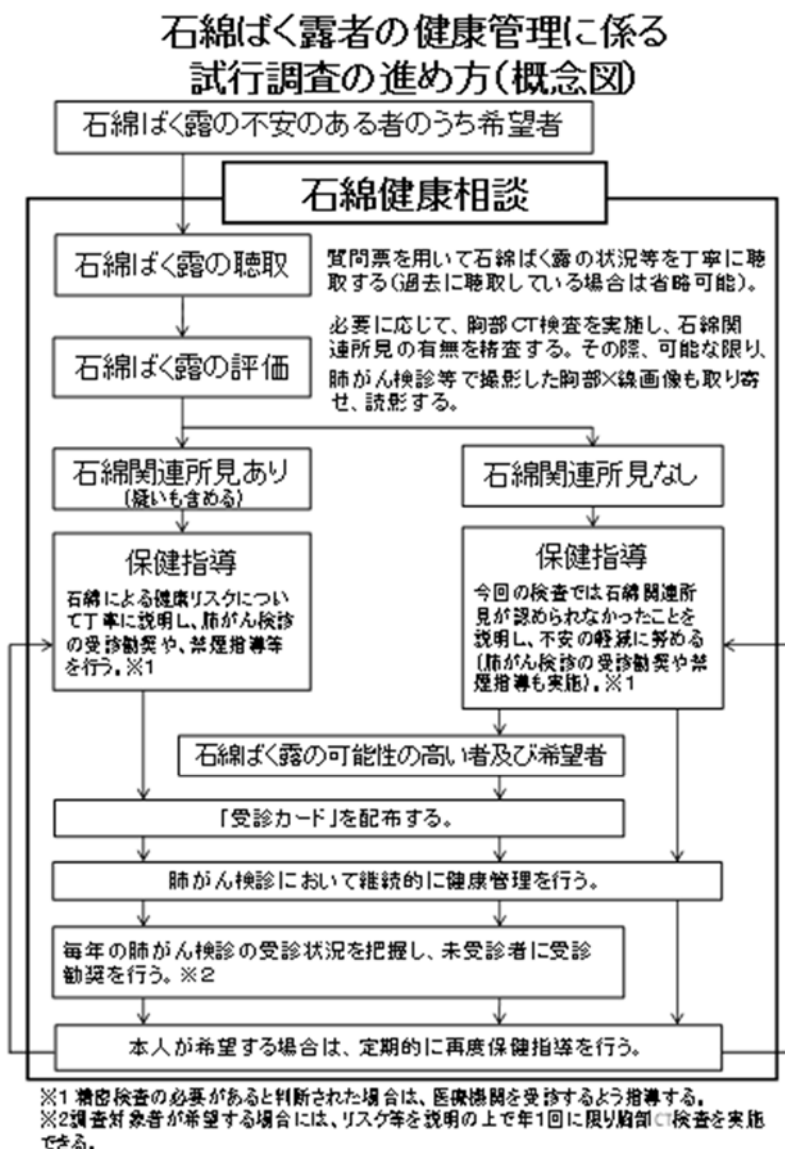
2.2 調査結果

2.2.1 平成 27 年度に実施した試行調査の結果の取りまとめ

平成 27 年度に環境省が 9 地域の地方公共団体に委託した試行調査の報告書をもとに、調査結果の概要資料を取りまとめた。本資料は、「平成 27 年度石綿ばく露者の健康管理に関する各種調査報告」²⁾として公表された。

2.2.2 試行調査から得られた課題の分析及び今後の対応方針に関する検討

試行調査は、石綿検診（仮称）の実施を見据え、モデルとなる事業を実施することを通じて、実施主体・既存検診（肺がん検診）との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査・検討を行うことを目的としており、効果的・効率的な健康管理により「石綿ばく露地域の住民の不安の解消」「石綿関連疾患の早期発見・早期治療」「石綿健康被害救済制度等による早期の救済・支援」を期待している。



²⁾ http://www.env.go.jp/air/asbestos/commi_hefc/rep_h27/data/01_H27_houkoku.pdf

(1) 目的・健康管理の考え方

石綿による健康不安への対応、石綿健康被害救済制度等による早期の救済・支援を当面の目的とするが、試行調査の実施により石綿による健康不安が解消できたかどうかの確認が必要である。

「第1期・第2期における石綿の健康リスク調査の主な結果と考察について」

(平成28年3月 環境省)

(2) 今後の健康管理の在り方

今後は、以下の目的及び実施方法に留意しつつ、試行調査を通じて、健康管理の在り方の検討を進めることが考えられる。これまでの調査により得られた知見を踏まえつつ、調査対象地域外の実態を考慮しながら、更なる詳細の検討を行う必要がある。

<目的>

石綿ばく露に関する地域住民の不安に対応することを目的とする。その際、石綿関連疾患を有する者を可能な限り早期に発見し、早期の治療及び石綿健康被害救済制度等による早期の救済・支援につなげる。

(2) 健康管理の対象について

対象地域については、全国的な実施とするか、特定の地域で実施とするか、特定の地域で実施する場合の転居した者への対応について検討が必要である。

「第1期・第2期における石綿の健康リスク調査の主な結果と考察について」

(平成28年3月 環境省)

<実施方法>

現時点では、石綿の健康リスク調査による死亡率減少の効果が確認されていないことから、全員の受診を前提とした積極的な受診勧奨は行わず、目的や検査に伴うリスク等について丁寧に説明を行った上で、希望者のみに限定した任意型の健康管理とすることが適当である。

(3) 検査項目について

検査項目については、石綿ばく露の評価・保健指導や検査実施によって得られるメリットと検査被ばくによるリスク、検査方法(胸部X線検査、胸部CT検査)、検査頻度、対象年齢、既存検診等との連携の必要性・実現可能性について検討が必要である。検査頻度についてはこれまでに収集された情報を活用した更なる検討が必要である。

「第1期・第2期における石綿の健康リスク調査の主な結果と考察について」

(平成28年3月 環境省)

健康管理を行うに当たっては、健康管理による不安減少等のメリットと検査に伴う放射線被ばくのデメリットを踏まえて、放射線画像検査のみならず健康相談等を組み合わせて、効果的・効率的な健康管理の在り方を検討する必要がある。

また、放射線画像検査を行うにあたっては、（特に年齢やばく露状況を勘案し）対象者の適切な選定、検査の種類や頻度の適正化、既存の結核検診、肺がん検診等との連携等により、放射線被ばくの影響を可能な限り低減する手法を検討することが重要である。

（４）保健指導について

保健指導については、不安解消につながるような情報提供のあり方について検討が必要である。そのためには受診者が有する健康不安がどのようなものか、健康不安が増加・減少した理由などの情報を収集することが必要である。

「第１期・第２期における石綿の健康リスク調査の主な結果と考察について」

（平成 28 年 3 月 環境省）

健康管理を行うに当たっては、健康管理による不安減少等のメリットと検査に伴う放射線被ばくのデメリットを踏まえて、放射線画像検査のみならず健康相談等を組み合わせて、効果的・効率的な健康管理の在り方を検討する必要がある。

（５）その他

今後の事業展開を検討する上で、実施主体、実施体制、費用負担、人材育成、事業評価等について検討が必要である。

2.2.3 意見交換会の開催

有識者 5 名からなる「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査に関する意見交換会」を開催し、試行調査の実施状況のレビュー、平成 29 年度以降の取組について検討した。意見交換会の委員は表 2-2-3-1 に、開催状況は表 2-2-3-2 に示すとおりである。なお、開催に際し、意見交換会の運営に関する事務手続きを行った。

表 2-2-3-1 「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査に関する意見交換会」委員名簿

氏名	所属
酒井 文和	埼玉医科大学国際医療センター画像診断科教授
島 正之	兵庫医科大学公衆衛生学教授
祖父江 友孝	国立大学法人大阪大学医学研究科環境医学教授
中野 孝司	兵庫医科大学呼吸器内科教授
平野 靖史郎	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター 健康リスク研究室長

(五十音順、敬称略、座長)

表 2-2-3-2 意見交換会の開催状況

	開催時期及び議事
第 1 回	平成 28 年 12 月 1 日 ・平成 27 年度調査結果について ・試行調査の概況・今後の検討課題等について

2.2.4 自治体からの意見の聴取

自治体担当者からなる「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査に関する関係自治体担当者会議」を開催し、試行調査の実施状況のレビュー、平成 29 年度以降の取組について検討した。開催状況は表 2-2-4-1 に示すとおりである。なお、開催に際し、会議の運営に関する事務手続きを行った。

表 2-2-4-1 関係自治体担当者会議の開催状況

	開催時期及び議事	関係自治体
第 1 回	平成 28 年 10 月 24 日 ・平成 27 年度調査結果について ・平成 28 年度報告書について	大阪府、奈良県、横浜市、羽島市、兵庫県、尼崎市、西宮市、芦屋市、加古川市、北九州市、鳥栖市

2.2.5 保健指導講習会の開催

試行調査における保健指導の円滑な実施を目的に、横須賀市立うわまち病院三浦溥太郎氏を講師として、試行調査関係自治体の保健師を対象に保健指導講習会を開催した。開催状況は表 2-2-5-1 に示すとおりである。なお、開催に際し、講習会の運営に関する事務手続きを行った。

表 2-2-5-1 保健指導講習会の開催状況

	開催時期及び講義	関係自治体
第 1 回	平成 28 年 5 月 20 日 ・保健指導講習会 石綿とは 石綿関連の各種制度 石綿関連所見 石綿関連疾患 保健指導の実際	大阪府（大阪市、河内長野市、岸和田市、貝塚市、泉南市、阪南市、泉佐野市、岬町、熊取町、田尻町、和泉市、八尾市、東大阪市）奈良県、横浜市、羽島市、尼崎市、西宮市、芦屋市、加古川市、北九州市、鳥栖市

2.2.6 読影講習会の開催

試行調査における画像読影の円滑な実施を目的に、横須賀市立うわまち病院三浦溥太郎氏を講師として、試行調査関係自治体が推薦する読影医を対象に読影講習会を開催した。開催状況は表 2-2-6-1 に示すとおりである。なお、開催に際し、講習会の運営に関する事務手続きを行った。

表 2-2-6-1 読影講習会の開催状況

	開催時期及び講義	関係自治体
第 1 回	平成 28 年 12 月 14 日 ・石綿関連所見・疾患診断のポイント ・読影実習	大阪府、西宮市、加古川市、北九州市、鳥栖市

2.2.7 保健指導マニュアルの作成

試行調査における円滑な保健指導の実施を目的として、有識者5名からなる保健指導マニュアル作成委員会を開催し、保健指導マニュアルを作成した。保健指導マニュアルは巻末資料に示すとおりである。保健指導マニュアル作成委員会の委員は表 2-2-7-1 に、開催状況は表 2-2-7-2 に示すとおりである。なお、開催に際し、委員会の運営に関する事務手続きを行った。

表 2-2-7-1 「保健指導マニュアル作成委員会」委員名簿

氏名	所属
内山 巖雄	国立大学法人京都大学名誉教授
祖父江 友孝	国立大学法人大阪大学医学研究科環境医学教授
長松 康子	聖路加国際大学国際看護学准教授
平野 靖史郎	国立環境研究所環境リスク・健康研究センター副センター長
三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院顧問

表 2-2-7-2 保健指導マニュアル作成委員会の開催状況

	開催時期及び議事
第1回	平成28年11月4日 ・保健指導マニュアル素案について
第2回	平成29年3月14日 ・保健指導マニュアル案について

2.2.8 肺がん検診・職場検診の実態調査

肺がん検診の実施状況について、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添、平成28年2月4日一部改正以降、「指針」という。)及び「平成28年度市町村におけるがん検診の実施状況調査集計結果」(第19回がん検診のあり方に関する検討会)、「がん検診の実施状況等調査集計結果」(第17回がん検診のあり方に関する検討会)を参考に整理した。また、試行調査実施自治体及び主要自治体(県庁所在地)を対象に肺がん検診の実施状況に関するアンケート調査を実施した。

(1) 肺がん検診の実施状況 (厚生労働省資料)

表 2-2-8-1 市町村における肺がん検診の実施状況

肺がん検診	市町村数	割合
実施	1,722	99.1%
集団検診	1,117	64.9%
個別検診	69	4.0%
集団・個別検診	536	31.3%
未実施	15	0.9%
計	1,737	100.0%

表 2-2-8-2 健保組合における肺がん検診の実施状況 (被保険者)

肺がん検診	組合数	割合
実施	999	71.1%
未実施	239	17.0%
未回答	168	11.9%
計	1,406	100.0%

実施目的と内容

がん検診は、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的とする。

問診内容

喫煙歴、職歴、血痰の有無及び妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取する。なお、必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができる。

検査の種類

胸部 X 線検査及び喀痰細胞診

胸部 X 線検査に用いる肺がん検診に適格な胸部 X 線写真は、肺尖、肺野外側縁、横隔膜及び肋骨横隔膜等を十分に含むような X 線写真であって、適度な濃度とコントラスト及び良好な鮮鋭度をもち、縦隔陰影に重なった気管、主気管支の透亮像並びに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるものであり、かつ、次により撮影されたものとする。

- ・ 間接撮影であって、100mm ミラーカメラを用い、定格出力 150kV 以上の撮影装置を用いた、120kV 以上の管電圧による撮影
- ・ 間接撮影であって、定格出力 125kV の撮影装置を用い、縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため 110kV 以上の管電圧及び希土類 (グラデーシオン型) 蛍光板を用いた撮影

- ・直接撮影であって、被験者 管球間の距離を 1.5m 以上とし、定格出力 150kV 以上の撮影装置を用い、原則として 120kV (やむを得ない場合は 100 ~ 120kV でも可) の管電圧及び希土類システム (希土類増感紙及びオルソタイプフィルム) を用いた撮影

表 2-2-8-3 市町村における肺がん検診の検査項目

検診項目	市町村数	割合
問診	1,696	98.5%
胸部 X 線検査	1,678	97.4%
喀痰細胞診	1,462	84.9%
胸部 CT 検査	224	13.0%
その他	6	0.3%
計	1,722	100.0%

表 2-2-8-4 健保組合における肺がん検診の検査項目

検診項目	組合数	割合
胸部 X 線検査	944	76.3%
喀痰細胞診	264	21.3%
胸部 CT 検査	264	21.3%
計	1,238	100.0%

読影方法

胸部 X 線写真は、2 名以上の医師によって読影し、それぞれの読影結果に基づき比較読影する。

・二重読影

2 名以上の医師が同時に又はそれぞれ独立して読影することとするが、このうち 1 名は、十分な経験を有する者とする。読影結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「肺癌検診における胸部 X 線写真の判定基準と指導区分」によって行う。

・比較読影

ア 二重読影の結果、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「肺癌検診における胸部 X 線写真の判定基準と指導区分」の「d」及び「e」に該当するものについては、比較読影を行う。

イ 比較読影は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較しながら読影するものであり、地域の実情に応じて次のいずれかの方法により行う。

(ア) 読影委員会等を設置して比較読影を行う方法

(イ) 二重読影を行った医師がそれぞれ比較読影を行う方法

(ウ) 二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が比較読影を行う方法

ウ 読影結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「肺

癌検診における胸部X線写真の判定基準と指導区分」によって行う。

結果通知

検診の結果については、医師が総合的に判断して、精密検査の必要性の有無を附し、市町村ないし検診実施機関等から受診者に速やかに通知する。

ア 「要精検」と区分された者

医療機関において精密検査を受診するよう指導する。

イ 「精検不要」と区分された者

翌年の検診の受診を勧めるとともに、禁煙等日常生活上の注意を促す。

なお、指導区分の決定及び精度管理等については、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)等を参考とすること。

また、胸部X線写真の読影の結果、結核等肺がん以外の疾患が考えられる者については、受診者に適切な指導を行うとともに、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第53条の2第3項に規定する定期の健康診断等の実施者又は医療機関に連絡する等の体制を整備すること。

精密検査の結果、がんと診断された者については、必ず個人票を作成し、組織型、臨床病期及び治療の状況(切除の有無を含む。)等について記録する。

また、がんが否定された者についても、その後の経過を把握し、追跡することのできる体制を整備することが望ましい。

表 2-2-8-5 市町村における肺がん検診の精密検査受診勧奨

受診勧奨	市町村数	割合
実施	1,105	64.2%
郵送	792	71.7%
電話	53	4.8%
訪問(自治体職員)	41	3.7%
訪問(その他)	120	10.9%
世帯主宛郵送	260	23.5%
その他	71	6.4%
未回答	9	0.8%
未実施	604	35.1%
未回答	13	0.8%
計	1,722	100.0%

表 2-2-8-6 健保組合における肺がん検診の精密検査受診勧奨

検診項目	組合数	割合
行っている	344	27.8%
計	1,238	100.0%

記録の整備

検診の記録は、氏名、性別、年齢、住所、過去の検診の受診状況、画像の読影の結果、喀痰細胞診の結果、精密検査の必要性の有無等を記録する。

また、受診指導の記録を併せて整理するほか、必要に応じて個人票を作成し、医療機関における確定診断の結果及び治療の状況等を記録する。

検診間隔

原則として同一人について年1回行う。

表 2-2-8-7 市町村における肺がん検診の受診間隔

受診間隔	市町村数	割合
年1回	1,694	98.4%
その他	21	1.2%
未回答	7	0.4%
計	1,722	100.0%

対象者

当該市町村の区域内に居住地を有する40歳以上の者を対象とする。ただし、喀痰細胞診の対象者は、質問の結果、原則として50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上であることが判明した者（過去における喫煙者を含む。）とする。

表 2-2-8-8 市町村における肺がん検診の対象者

対象者	市町村数	割合
40歳以上	1,355	78.7%
その他	364	21.1%
未回答	3	0.2%
計	1,722	100.0%

表 2-2-8-9 健保組合における肺がん検診の対象者

対象者	組合数	割合
40 歳以上	109	10.9%
その他	831	83.2%
未把握	4	0.4%
未回答	55	5.5%
計	999	100.0%

個人負担

表 2-2-8-10 市町村における肺がん検診の費用負担

自己負担の状況	市町村数	割合
集団検診	1,653	100.0%
なし	509	30.8%
高齢者のみなし	564	34.1%
一部なし	815	49.3%
あり	220	13.3%
未回答	8	0.5%
個別検診	605	100.0%
なし	104	17.2%
高齢者のみなし	194	32.1%
一部なし	344	56.9%
あり	126	20.8%
未回答	5	0.8%

表 2-2-8-11 健保組合における肺がん検診の費用負担

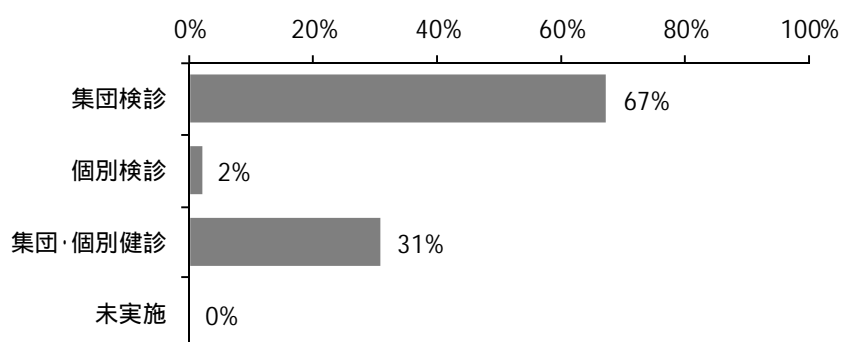
対象者	組合数	割合
全額補助	347	34.7%
一部補助	587	58.8%
補助なし	50	5.0%
未回答	15	1.5%
計	999	100.0%

(2) 試行調査実施自治体における肺がん検診の実施状況に関するアンケート結果

試行調査 10 地域を対象として肺がん検診の実施状況に関するアンケート調査を実施し、52 市町村より回答を得た。質問と回答内容は以下のとおりである。

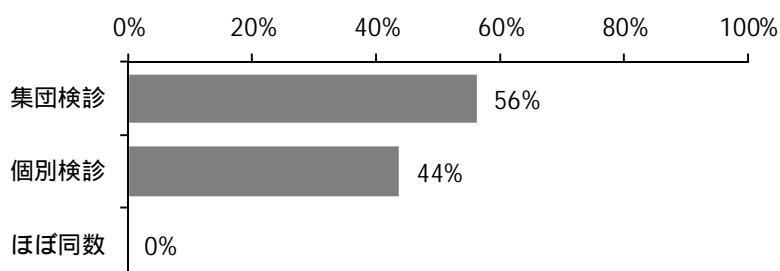
Q1.肺がん検診の実施方法について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
集団検診	52	35	67%
個別検診	52	1	2%
集団・個別健診	52	16	31%
未実施	52	0	0%



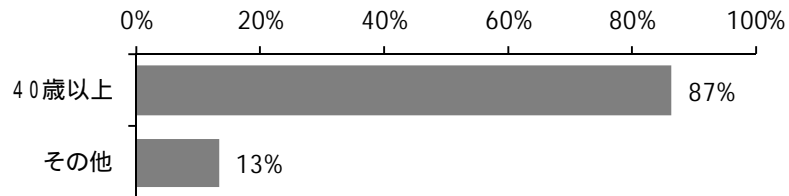
Q2.主たる検診はどちらですか。あてはまるものを選んでください。(Q1で「3」を選択)

選択肢	有効回答	回答数	割合
集団検診	16	9	56%
個別検診	16	7	44%
ほぼ同数	16	0	0%



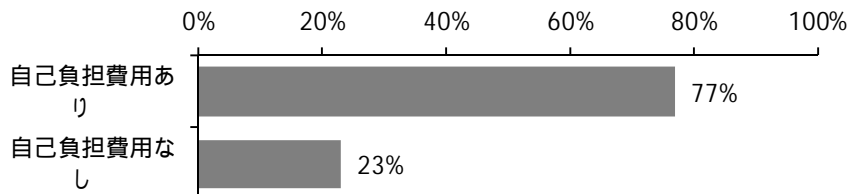
Q3. 肺がん検診の対象者について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
40歳以上	52	45	87%
その他	52	7	13%



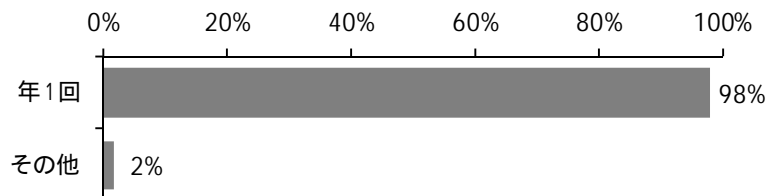
Q4. 肺がん検診で受診者の自己負担費用はありますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
自己負担費用あり	52	40	77%
自己負担費用なし	52	12	23%



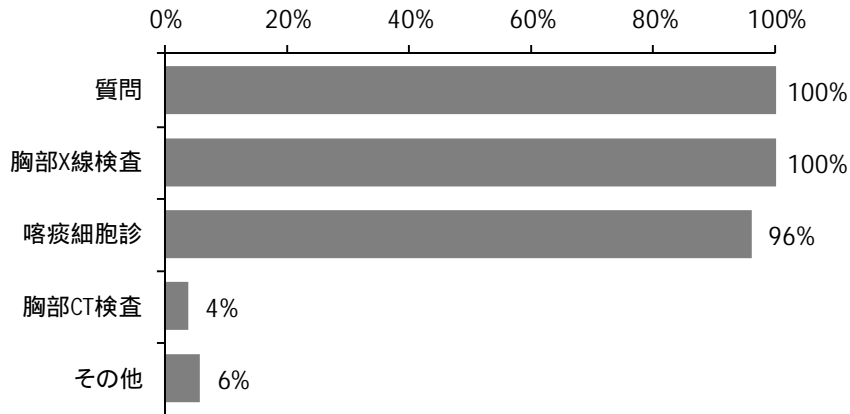
Q5. 肺がん検診の検査間隔について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
年1回	52	51	98%
その他	52	1	2%



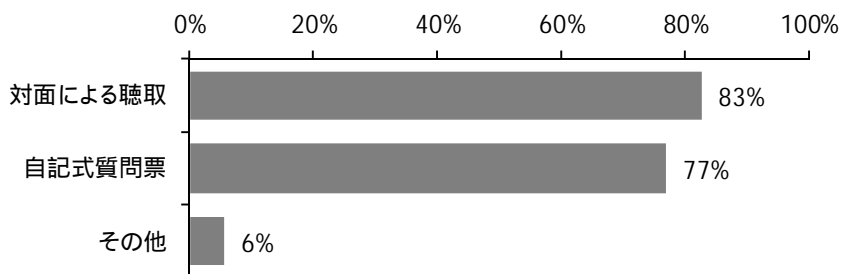
Q6. 肺がん検診の実施項目について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問	52	52	100%
胸部X線検査	52	52	100%
喀痰細胞診	52	50	96%
胸部CT検査	52	2	4%
その他	52	3	6%



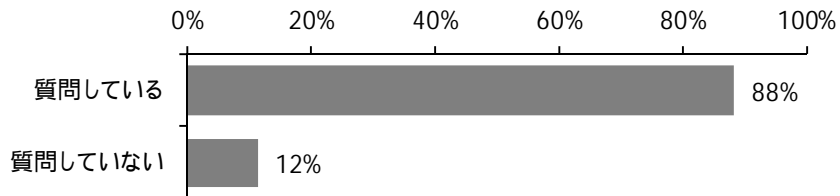
Q7. 質問の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面による聴取	52	43	83%
自記式質問票	52	40	77%
その他	52	3	6%



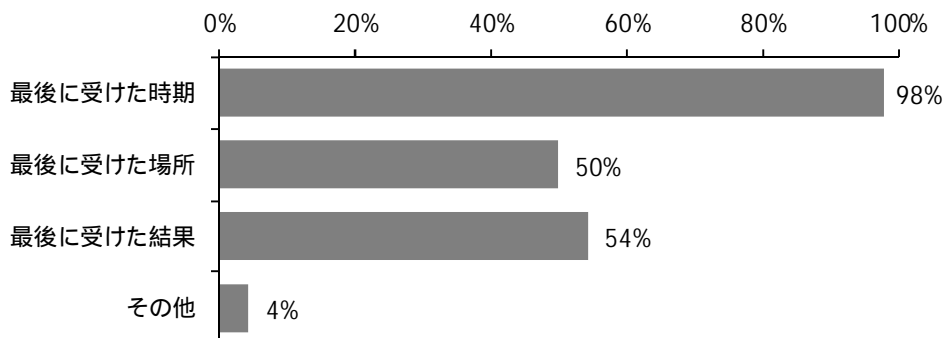
Q8. 過去検診(レントゲン、CT等)等の受診状況について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	46	88%
質問していない	52	6	12%



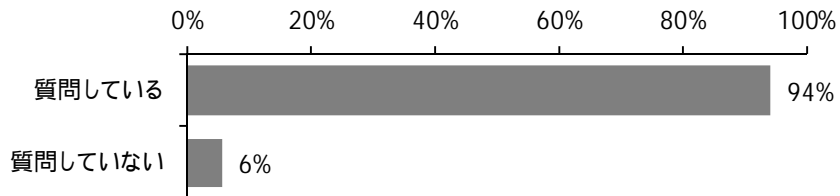
Q9. 過去検診(レントゲン、CT等)等の受診状況はどのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
最後に受けた時期	46	45	98%
最後に受けた場所	46	23	50%
最後に受けた結果	46	25	54%
その他	46	2	4%



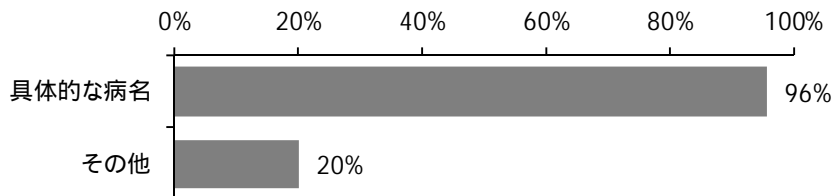
Q10.これまでの肺の病気について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	49	94%
質問していない	52	3	6%



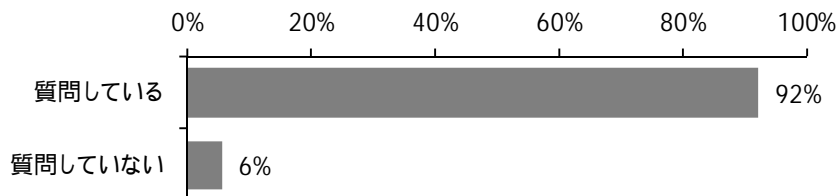
Q11.これまで肺の病気について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
具体的な病名	49	47	96%
その他	49	10	20%



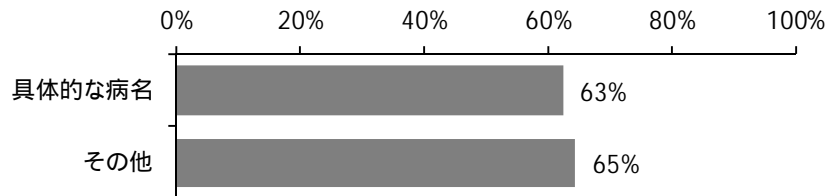
Q12.現在の肺に関する症状の有無について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	48	92%
質問していない	52	3	6%



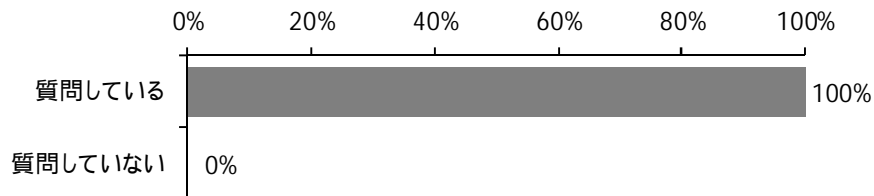
Q13.現在の肺に関する症状について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
具体的な病名	48	30	63%
その他	48	31	65%



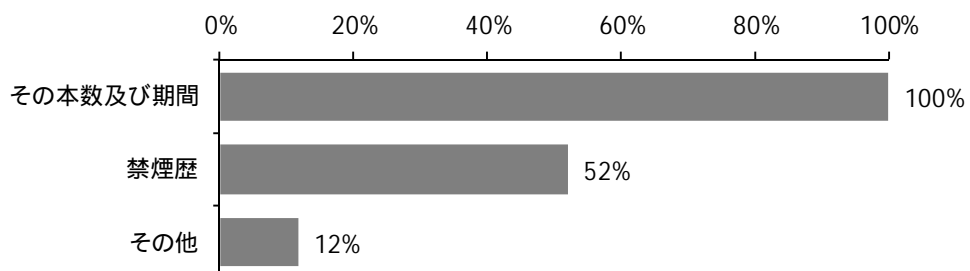
Q14.喫煙歴について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	52	100%
質問していない	52	0	0%



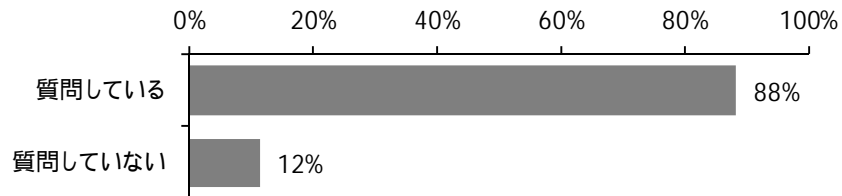
Q15.喫煙歴について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
その本数及び期間	52	52	100%
禁煙歴	52	27	52%
その他	52	6	12%



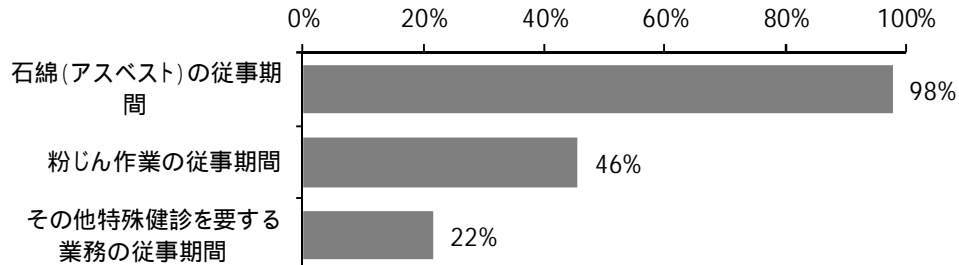
Q16. 特殊健診を要する業務の有無について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	46	88%
質問していない	52	6	12%



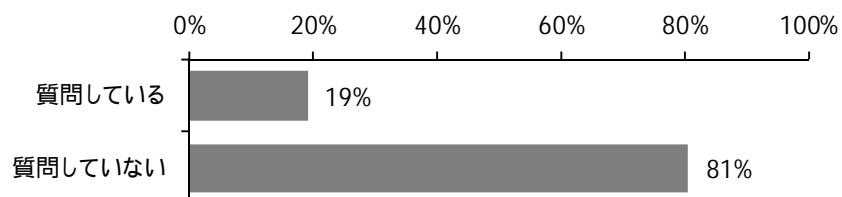
Q17. 特殊健診を要する業務の有無について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
石綿(アスベスト)の従事期間	46	45	98%
粉じん作業の従事期間	46	21	46%
その他特殊健診を要する業務の従事期間	46	10	22%



Q18. 一般環境経路による石綿ばく露の可能性について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	52	10	19%
質問していない	52	42	81%



Q19.一般環境経路による石綿ばく露の可能性について、どのような内容を質問していますか。

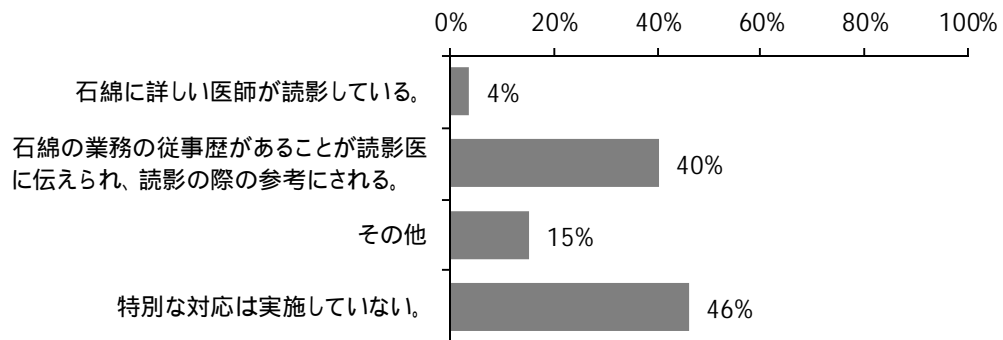
アスベストに関する仕事
アスベスト工場の近くに居住
アスベストに関して気になること
埃っぽい職場での仕事
アスベストについて不安の有無
アスベストばく露歴(ア～オ)
作業従事期間
居住歴
家族歴

Q20.その他の質問項目がありましたら、具体的に記載してください。

手術等の有無(病名、時期)
胸部の手術の有無
肺がんの家族歴
血縁者の肺がん既往歴
がんの家族歴
血縁者のがん既往歴
喀痰検査の受診歴
6ヶ月以内の血痰の有無
胸部以外の病気(病名、時期)
循環器疾患の既往歴
ペースメーカー装着有無
妊娠について(有無・可能性、週数など)
身近に喫煙をする人がいてタバコの煙を吸ってしまいますか
不安の有無、過去に石綿健康リスク

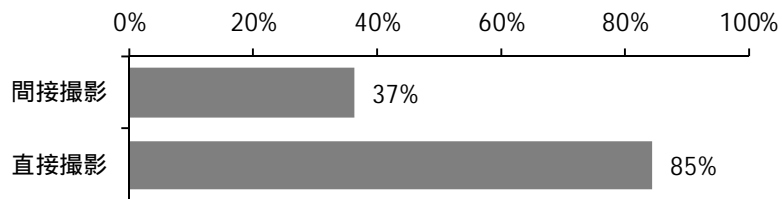
Q21. 質問結果で石綿(アスベスト)の業務の従事歴がある場合、石綿ばく露を考慮した対応を行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
石綿に詳しい医師が読影している。	52	2	4%
石綿の業務の従事歴があることが読影医に伝えられ、読影の際の参考にされる。	52	21	40%
その他	52	8	15%
特別な対応は実施していない。	52	24	46%



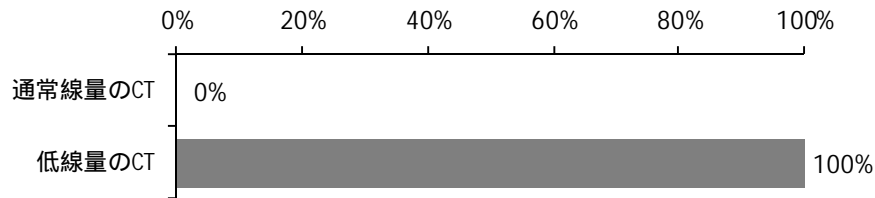
Q22. 胸部X検査の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
間接撮影	52	19	37%
直接撮影	52	44	85%



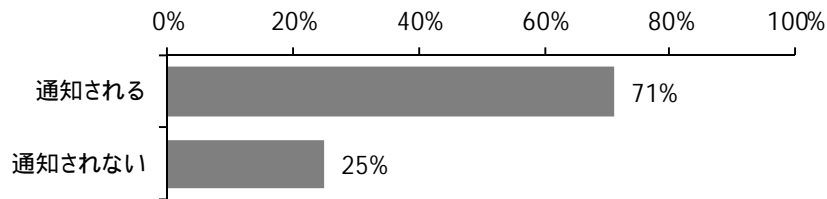
Q23.胸部CT検査の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
通常線量のCT	2	0	0%
低線量のCT	2	2	100%



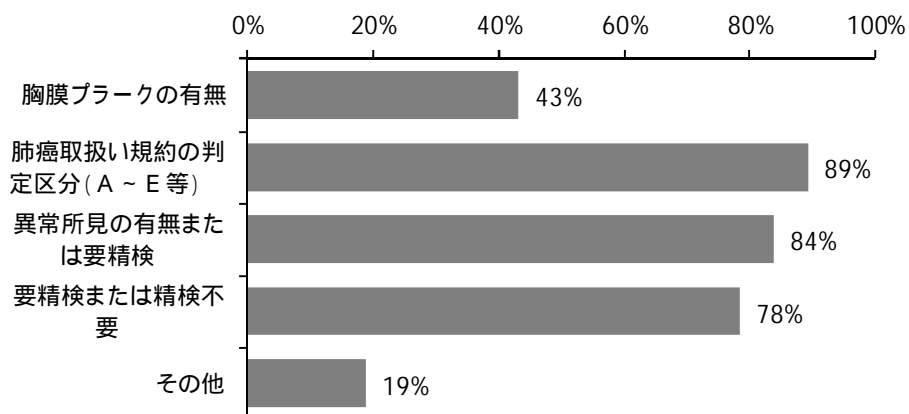
Q24.胸膜ブランクが発見された場合、医療機関から市町村へ結果が通知されますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
通知される	52	37	71%
通知されない	52	13	25%



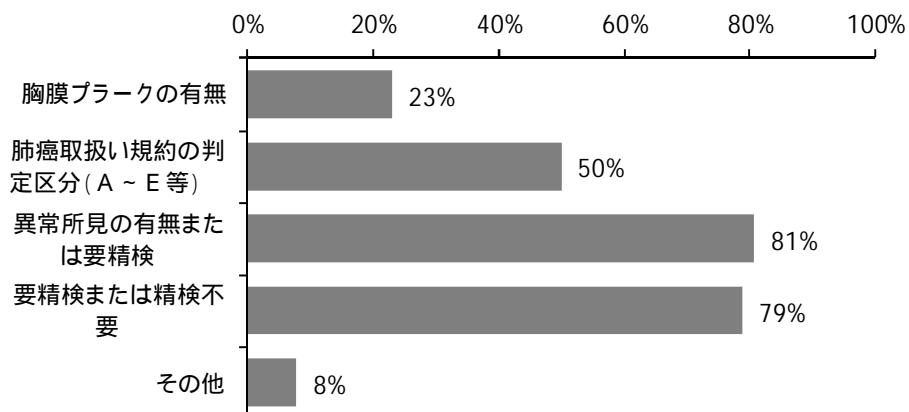
Q25.市町村に通知される結果はどのような内容が通知されますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
胸膜ブランクの有無	37	16	43%
肺癌取り扱い規約の判定区分(A～E等)	37	33	89%
異常所見の有無または要精検	37	31	84%
要精検または精検不要	37	29	78%
その他	37	7	19%



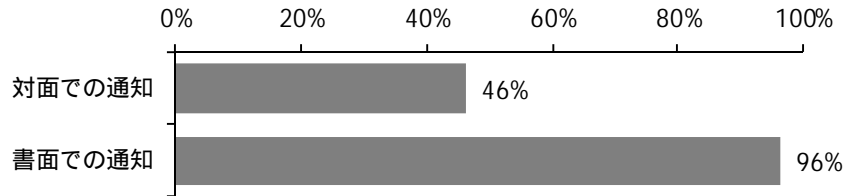
Q26.受診者に通知される結果はどのような内容が通知されますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
胸膜ブランクの有無	52	12	23%
肺癌取り扱い規約の判定区分(A～E等)	52	26	50%
異常所見の有無または要精検	52	42	81%
要精検または精検不要	52	41	79%
その他	52	4	8%



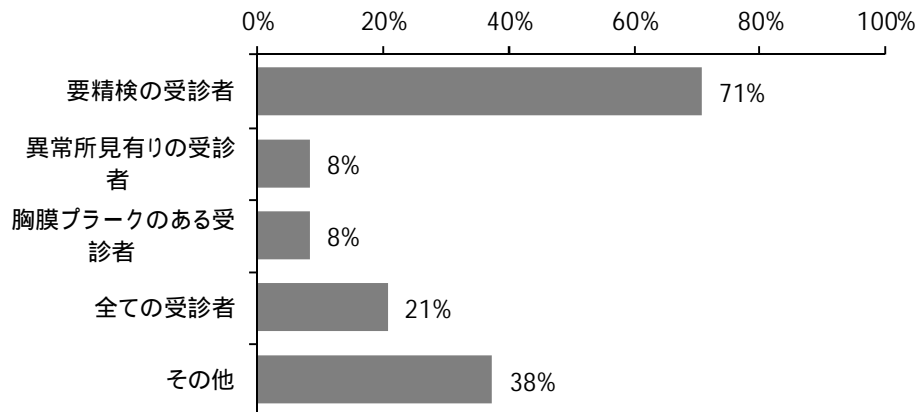
Q27.肺がん検診結果の受診者への通知方法はどのようなものがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面での通知	52	24	46%
書面での通知	52	50	96%



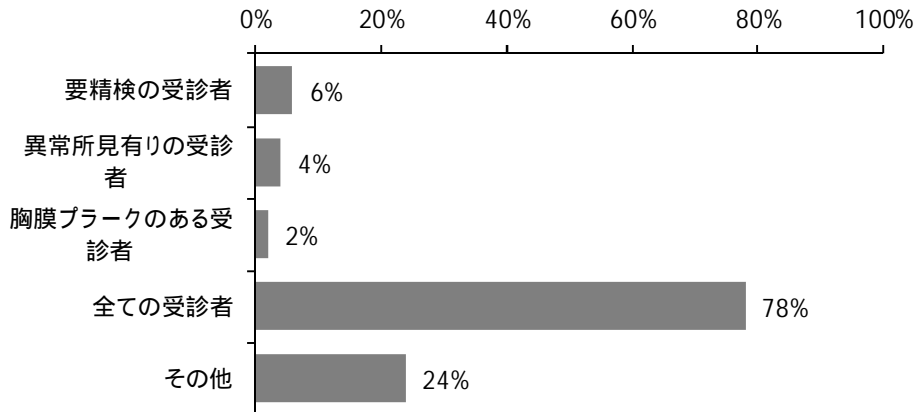
Q28.対面で通知するのは、どのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	24	17	71%
異常所見有りの受診者	24	2	8%
胸膜プラークのある受診者	24	2	8%
全ての受診者	24	5	21%
その他	24	9	38%



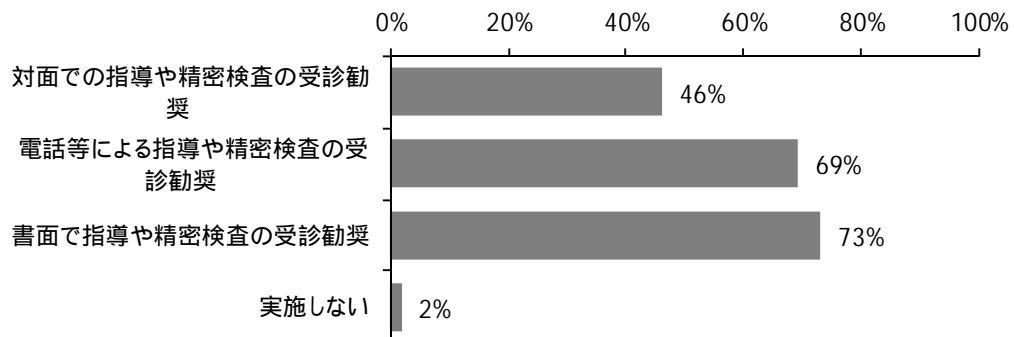
Q29.書面で通知するのは、どのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	50	3	6%
異常所見有りの受診者	50	2	4%
胸膜プラークのある受診者	50	1	2%
全ての受診者	50	39	78%
その他	50	12	24%



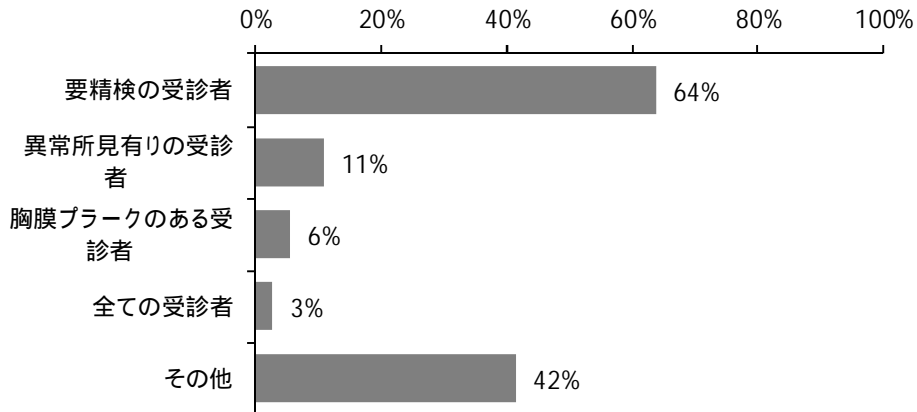
Q30.受診者への指導や精密検査の受診勧奨はどのような方法で行いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面での指導や精密検査の受診勧奨	52	24	46%
電話等による指導や精密検査の受診勧奨	52	36	69%
書面で指導や精密検査の受診勧奨	52	38	73%
実施しない	52	1	2%



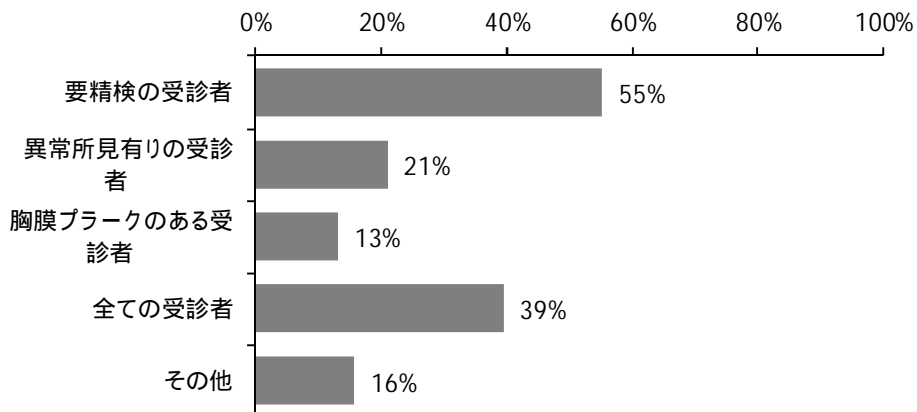
Q31.電話等で指導や精密検査の受診勧奨を実施するのはどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	36	23	64%
異常所見有りの受診者	36	4	11%
胸膜プラークのある受診者	36	2	6%
全ての受診者	36	1	3%
その他	36	15	42%



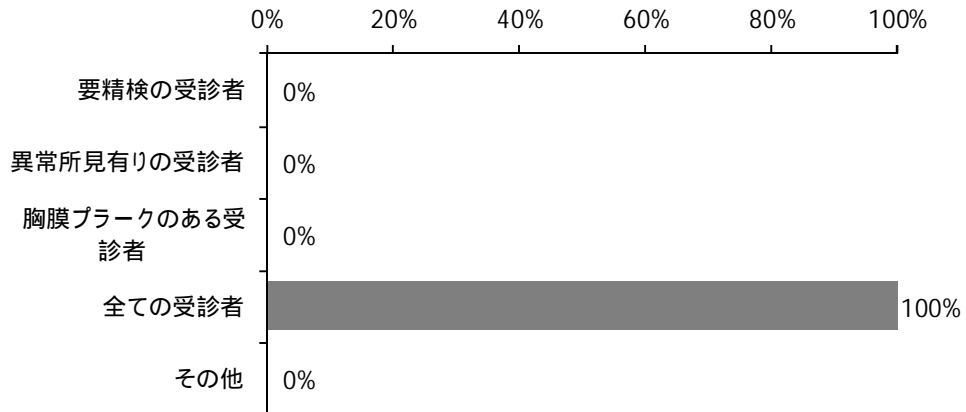
Q32.書面で指導や精密検査の受診勧奨を実施するのはどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	38	21	55%
異常所見有りの受診者	38	8	21%
胸膜プラークのある受診者	38	5	13%
全ての受診者	38	15	39%
その他	38	6	16%



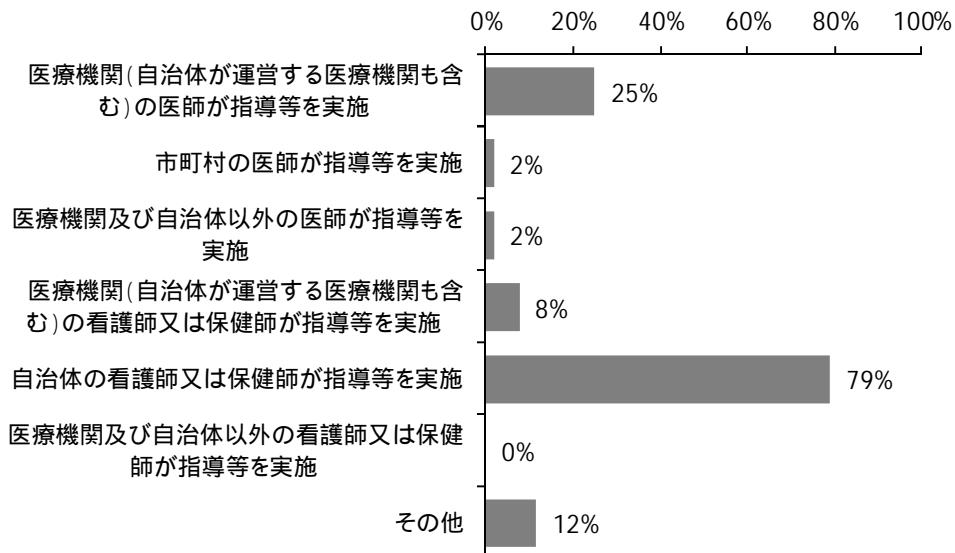
Q33.実施しない者はどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	1	0	0%
異常所見有りの受診者	1	0	0%
胸膜プラークのある受診者	1	0	0%
全ての受診者	1	1	100%
その他	1	0	0%



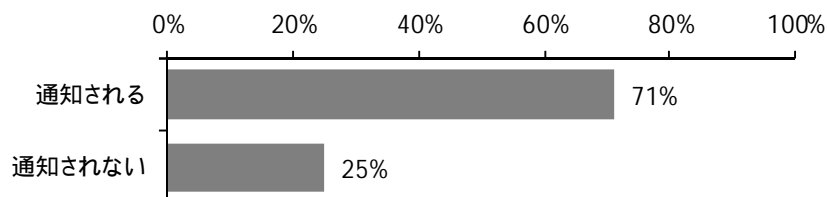
Q34.肺がん検診の結果の受診者への指導を実施する場合はどういった方が実施しますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
医療機関(自治体が運営する医療機関も含む)の医師が指導等を実施	52	13	25%
市町村の医師が指導等を実施	52	1	2%
医療機関及び自治体以外の医師が指導等を実施	52	1	2%
医療機関(自治体が運営する医療機関も含む)の看護師又は保健師が指導等を実施	52	4	8%
自治体の看護師又は保健師が指導等を実施	52	41	79%
医療機関及び自治体以外の看護師又は保健師が指導等を実施	52	0	0%
その他	52	6	12%



Q35.肺がん検診で撮影した胸部X線画像の貸し出しは実施していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
実施している	52	49	94%
実施していない	52	2	4%

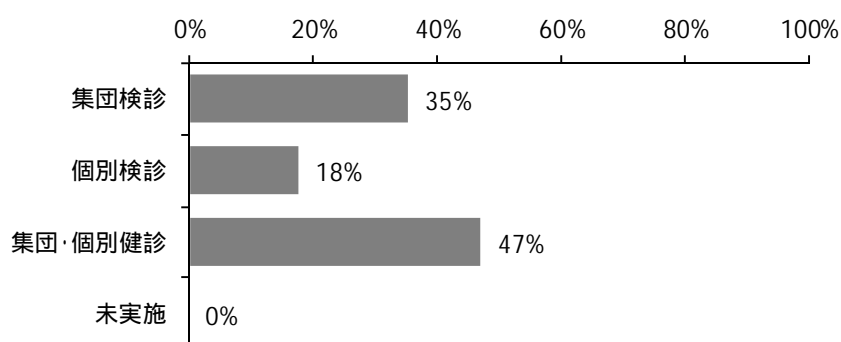


(3) 主要自治体（県庁所在地）における肺がん検診の実施状況に関するアンケート結果

県庁所在地を対象として肺がん検診の実施状況に関するアンケート調査を実施し、34市より回答を得た。質問と回答内容は以下のとおりである。

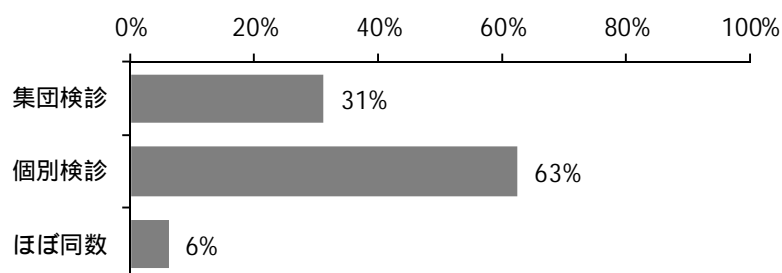
Q1.肺がん検診の実施方法について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
集団検診	34	12	35%
個別検診	34	6	18%
集団・個別健診	34	16	47%
未実施	34	0	0%



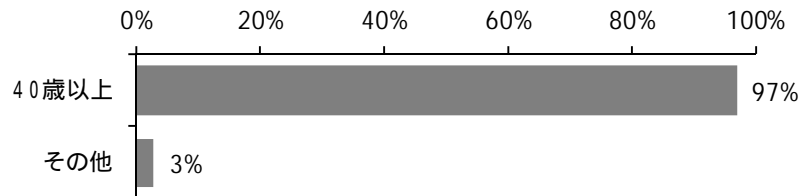
Q2.主たる検診はどちらですか。あてはまるものを選んでください。(Q1で「3」を選択)

選択肢	有効回答	回答数	割合
集団検診	16	5	31%
個別検診	16	10	63%
ほぼ同数	16	1	6%



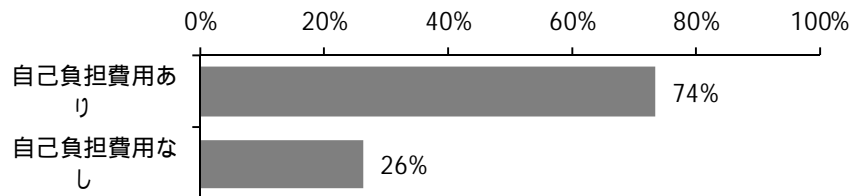
Q3. 肺がん検診の対象者について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
40歳以上	34	33	97%
その他	34	1	3%



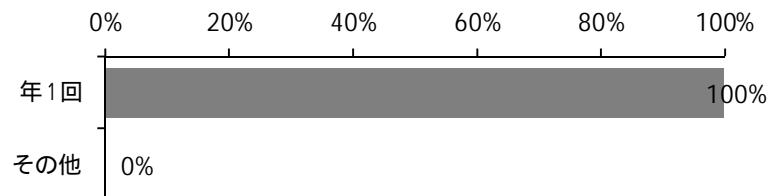
Q4. 肺がん検診で受診者の自己負担費用はありますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
自己負担費用あり	34	25	74%
自己負担費用なし	34	9	26%



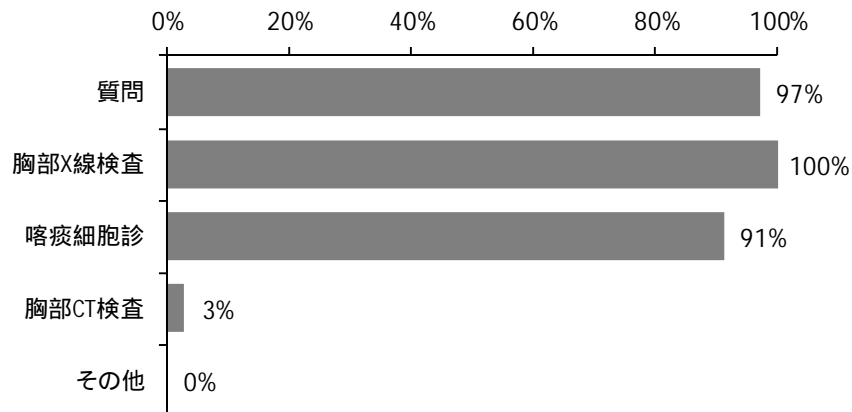
Q5. 肺がん検診の検査間隔について、あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
年1回	34	34	100%
その他	34	0	0%



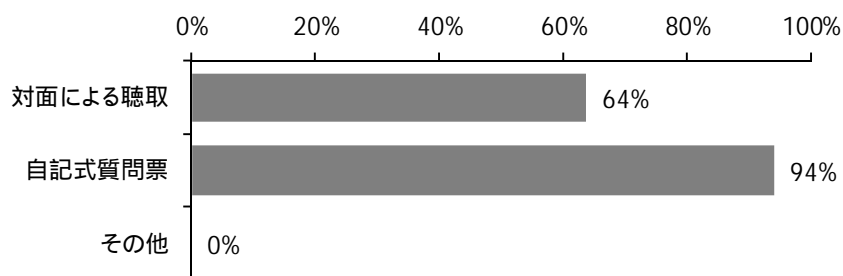
Q6. 肺がん検診の実施項目について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問	34	33	97%
胸部X線検査	34	34	100%
喀痰細胞診	34	31	91%
胸部CT検査	34	1	3%
その他	34	0	0%



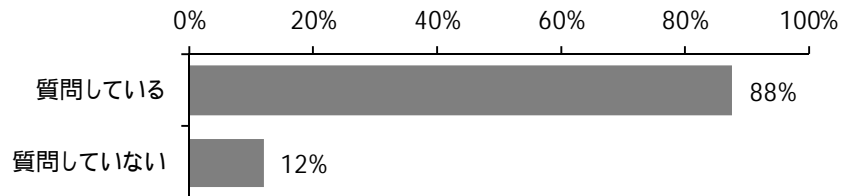
Q7. 質問の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面による聴取	33	21	64%
自記式質問票	33	31	94%
その他	33	0	0%



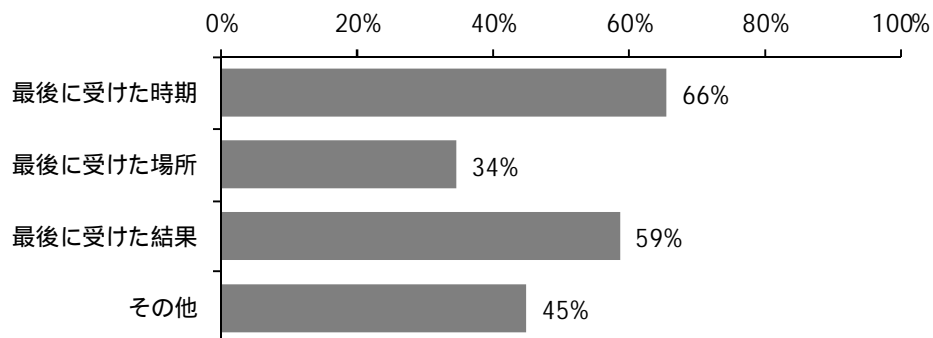
Q8. 過去検診(レントゲン、CT等)等の受診状況について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	29	88%
質問していない	33	4	12%



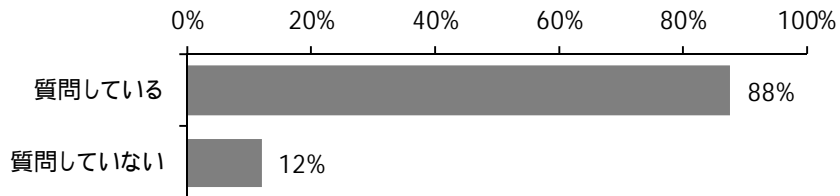
Q9. 過去検診(レントゲン、CT等)等の受診状況はどのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
最後に受けた時期	29	19	66%
最後に受けた場所	29	10	34%
最後に受けた結果	29	17	59%
その他	29	13	45%



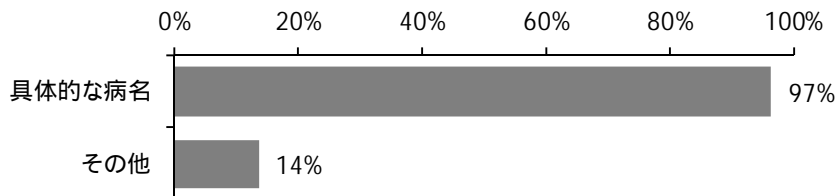
Q10.これまでの肺の病気について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	29	88%
質問していない	33	4	12%



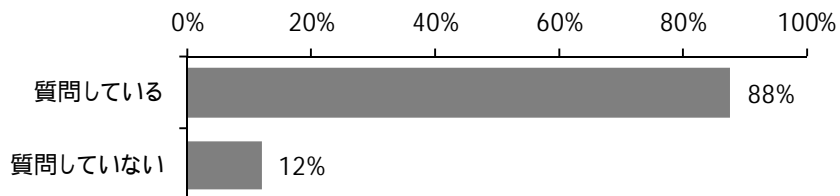
Q11.これまで肺の病気について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
具体的な病名	29	28	97%
その他	29	4	14%



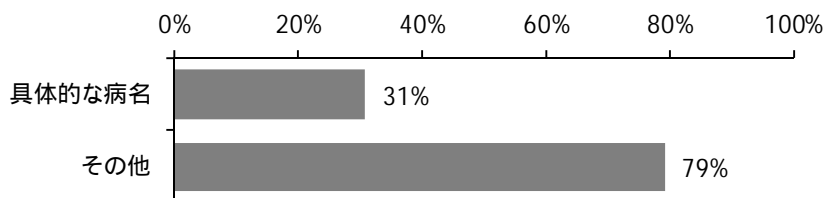
Q12.現在の肺に関する症状の有無について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	29	88%
質問していない	33	4	12%



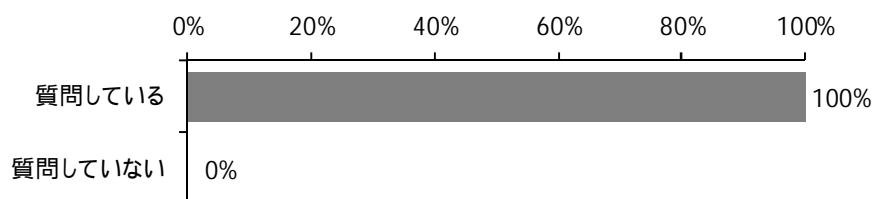
Q13.現在の肺に関する症状について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
具体的な病名	29	9	31%
その他	29	23	79%



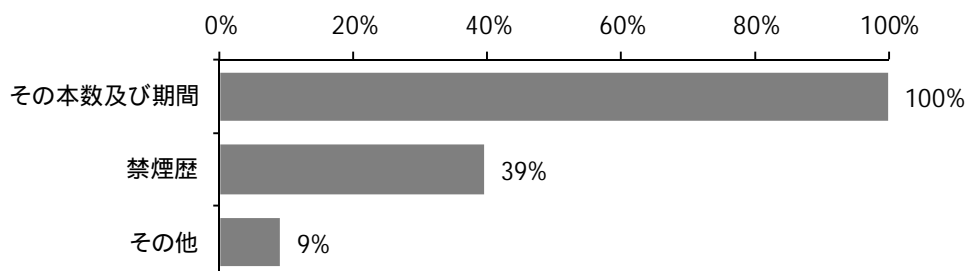
Q14.喫煙歴について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	33	100%
質問していない	33	0	0%



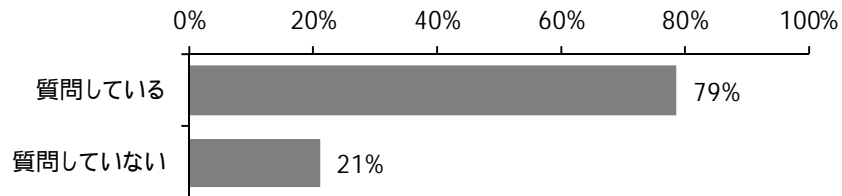
Q15.喫煙歴について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
その本数及び期間	33	33	100%
禁煙歴	33	13	39%
その他	33	3	9%



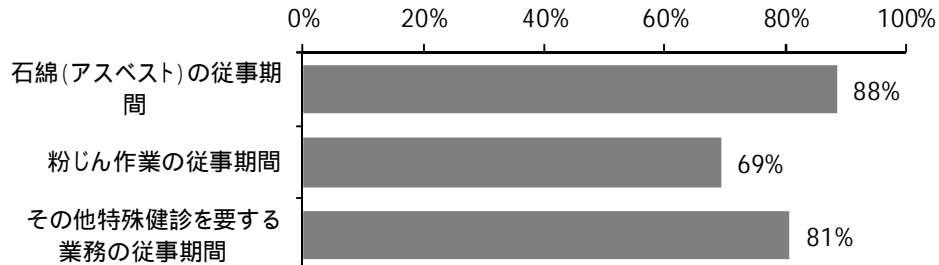
Q16. 特殊健診を要する業務の有無について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	26	79%
質問していない	33	7	21%



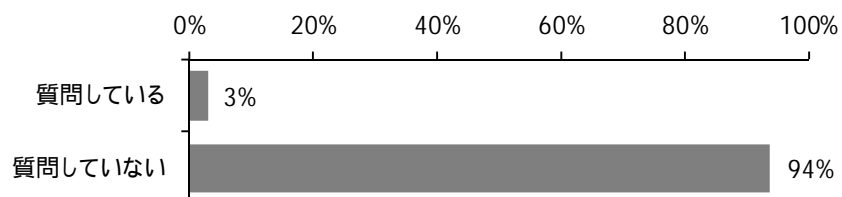
Q17. 特殊健診を要する業務の有無について、どのような内容を質問していますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
石綿(アスベスト)の従事期間	26	23	88%
粉じん作業の従事期間	26	18	69%
その他特殊健診を要する業務の従事期間	26	21	81%



Q18. 一般環境経路による石綿ばく露の可能性について質問していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
質問している	33	1	3%
質問していない	33	31	94%



Q19.一般環境経由による石綿ばく露の可能性について、どのような内容を質問していますか。

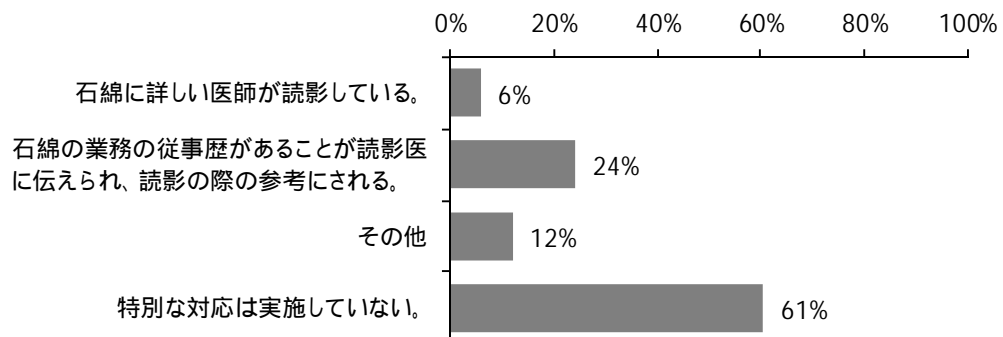
仕事での石綿作業従事歴と期間

Q20.その他の質問項目がありましたら、具体的に記載してください。

妊娠について(有無・可能性、週数など)
 血縁者のがん罹病歴
 血縁者の肺の病気歴
 最近6ヶ月以内に「たん」に血が混ざったこと
 過去の喀痰検査の受診
 喀痰検査の希望有無
 禁煙の希望
 飲酒歴
 家族歴、石綿ばく露に対する不安の有無
 仕事を通して石綿(アスベスト)を使用
 粉じん作業の従事歴と期間

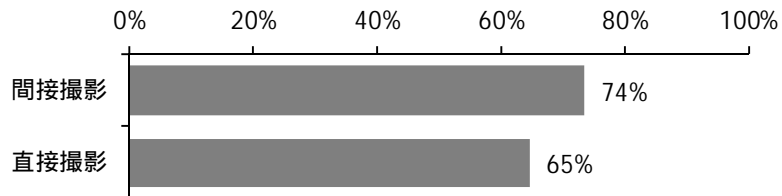
Q21.質問結果で石綿(アスベスト)の業務の従事歴がある場合、石綿ばく露を考慮した対応を行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
石綿に詳しい医師が読影している。	33	2	6%
石綿の業務の従事歴があることが読影医に伝えられ、読影の際の参考にされる。	33	8	24%
その他	33	4	12%
特別な対応は実施していない。	33	20	61%



Q22.胸部X検査の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
間接撮影	34	25	74%
直接撮影	34	22	65%



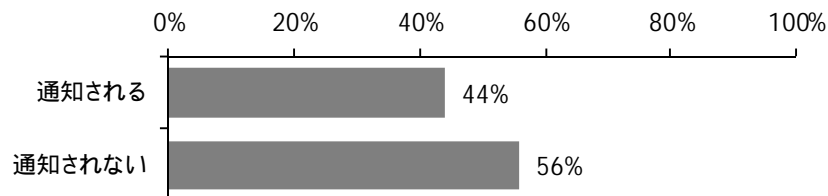
Q23.胸部CT検査の実施方法について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
通常線量のCT	1	0	0%
低線量のCT	1	1	100%



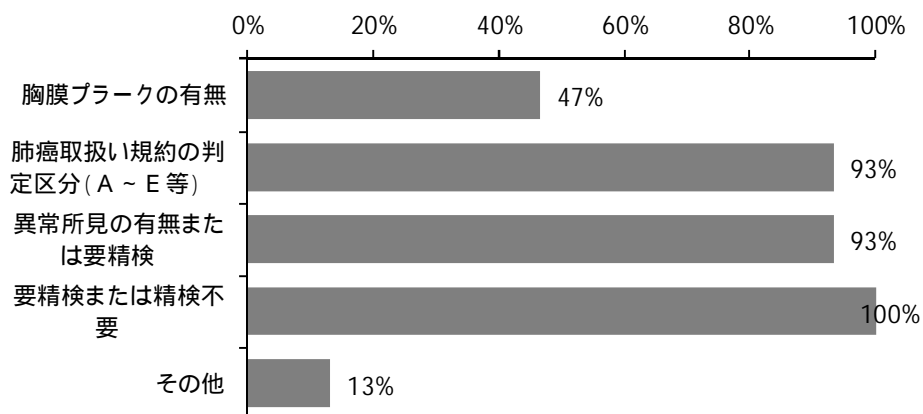
Q24.胸膜プラークが発見された場合、医療機関から市町村へ結果が通知されますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
通知される	34	15	44%
通知されない	34	19	56%



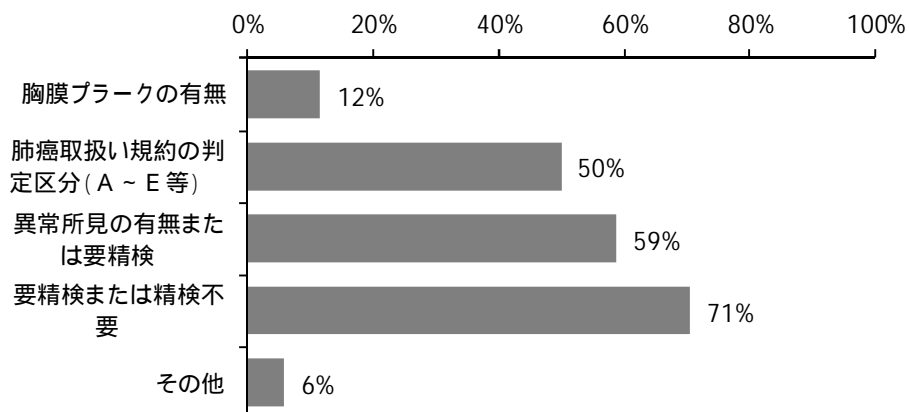
Q25.市町村に通知される結果はどのような内容が通知されますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
胸膜ブランクの有無	15	7	47%
肺癌取り扱い規約の判定区分(A～E等)	15	14	93%
異常所見の有無または要精検	15	14	93%
要精検または精検不要	15	15	100%
その他	15	2	13%



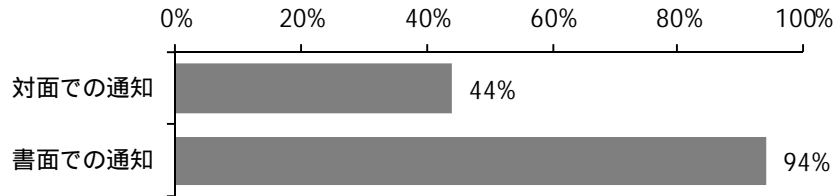
Q26.受診者に通知される結果はどのような内容が通知されますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
胸膜ブランクの有無	34	4	12%
肺癌取り扱い規約の判定区分(A～E等)	34	17	50%
異常所見の有無または要精検	34	20	59%
要精検または精検不要	34	24	71%
その他	34	2	6%



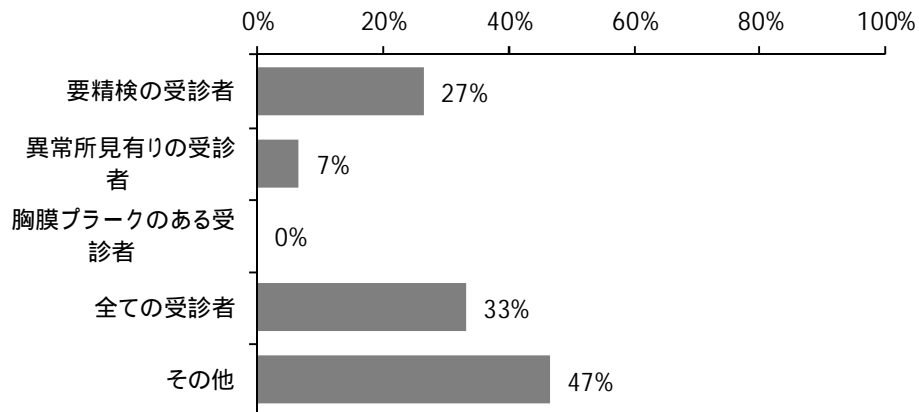
Q27. 肺がん検診結果の受診者への通知方法はどのようなものがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面での通知	34	15	44%
書面での通知	34	32	94%



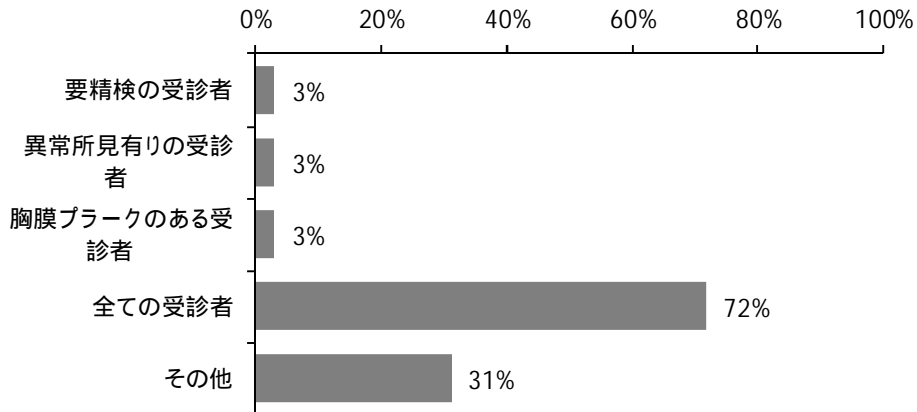
Q28. 対面で通知するのは、どのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	15	4	27%
異常所見有りの受診者	15	1	7%
胸膜プラークのある受診者	15	0	0%
全ての受診者	15	5	33%
その他	15	7	47%



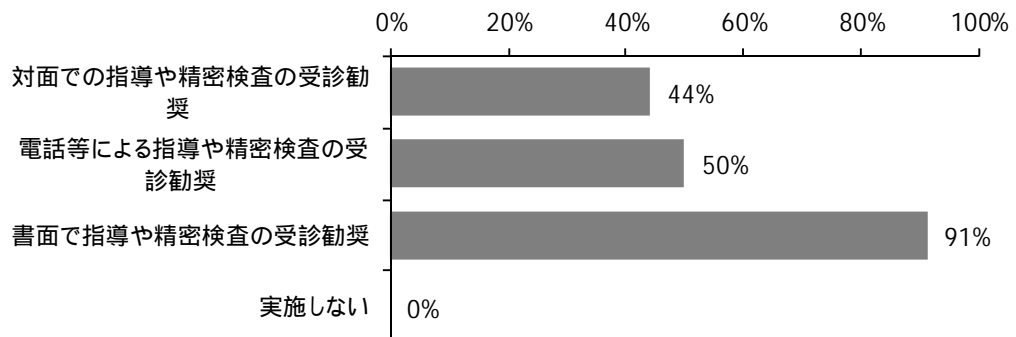
Q29.書面で通知するのは、どのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	32	1	3%
異常所見有りの受診者	32	1	3%
胸膜プラークのある受診者	32	1	3%
全ての受診者	32	23	72%
その他	32	10	31%



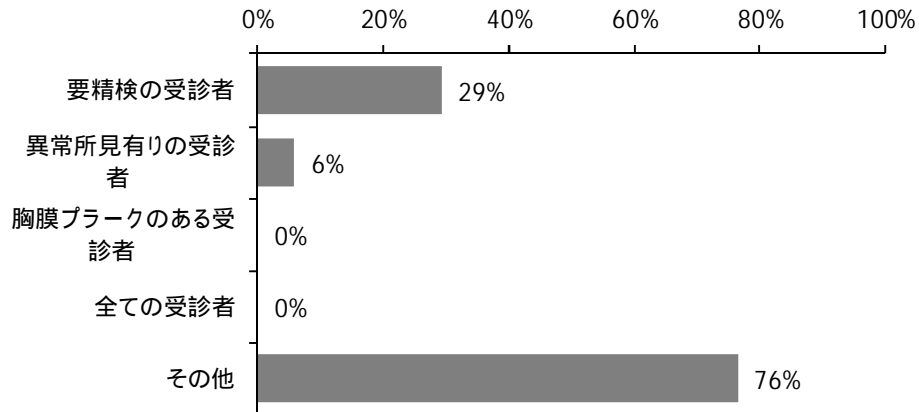
Q30.受診者への指導や精密検査の受診勧奨はどのような方法で行いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
対面での指導や精密検査の受診勧奨	34	15	44%
電話等による指導や精密検査の受診勧奨	34	17	50%
書面で指導や精密検査の受診勧奨	34	31	91%
実施しない	34	0	0%



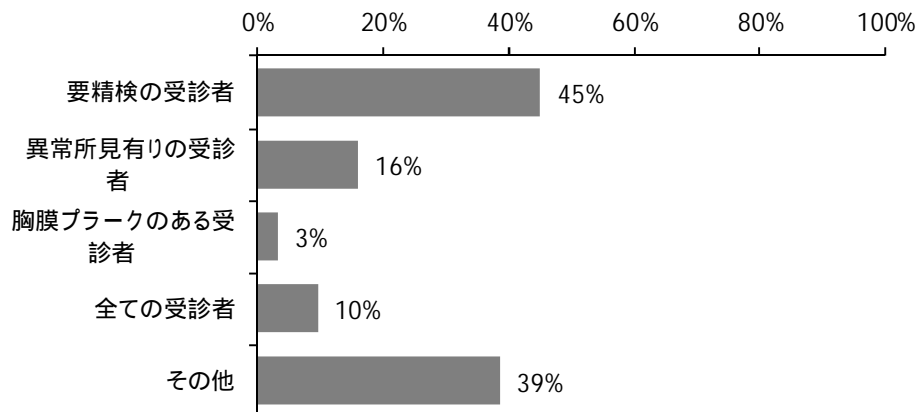
Q31.電話等で指導や精密検査の受診勧奨を実施するのはどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	17	5	29%
異常所見有りの受診者	17	1	6%
胸膜プラークのある受診者	17	0	0%
全ての受診者	17	0	0%
その他	17	13	76%



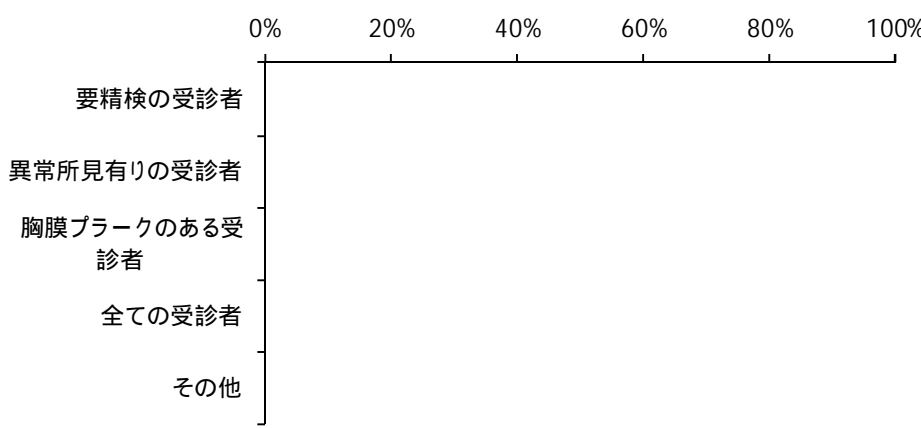
Q32.書面で指導や精密検査の受診勧奨を実施するのはどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	31	14	45%
異常所見有りの受診者	31	5	16%
胸膜プラークのある受診者	31	1	3%
全ての受診者	31	3	10%
その他	31	12	39%



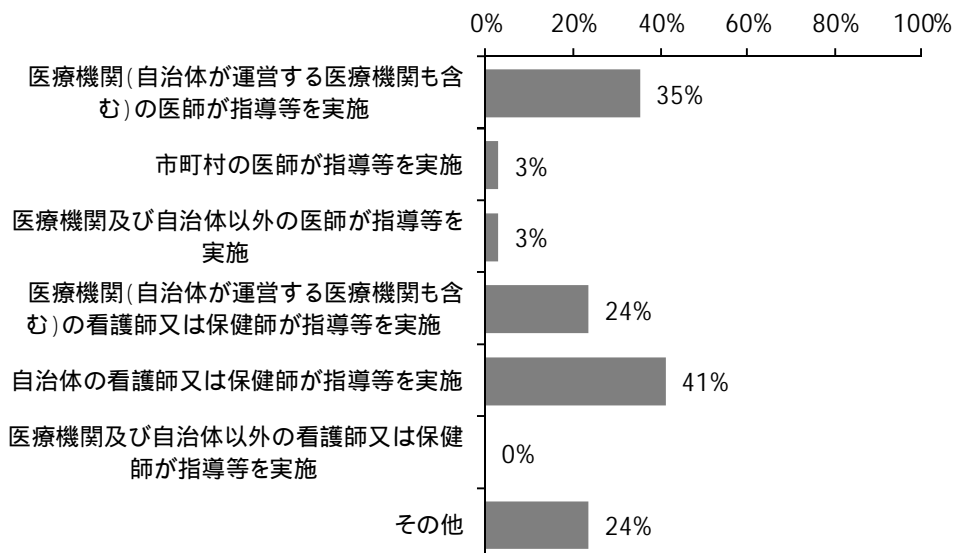
Q33.実施しない者はどのような受診者に対してですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
要精検の受診者	0	0	
異常所見有りの受診者	0	0	
胸膜プラークのある受診者	0	0	
全ての受診者	0	0	
その他	0	0	



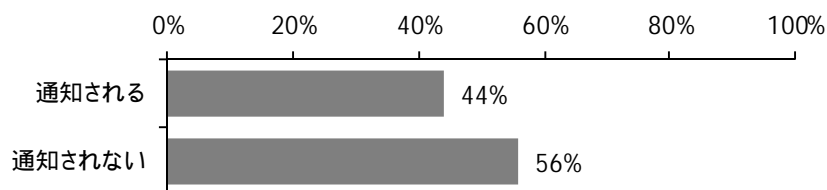
Q34.肺がん検診の結果の受診者への指導を実施する場合はどういった方が実施しますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答可】

選択肢	有効回答	回答数	割合
医療機関(自治体が運営する医療機関も含む)の医師が指導等を実施	34	12	35%
市町村の医師が指導等を実施	34	1	3%
医療機関及び自治体以外の医師が指導等を実施	34	1	3%
医療機関(自治体が運営する医療機関も含む)の看護師又は保健師が指導等を実施	34	8	24%
自治体の看護師又は保健師が指導等を実施	34	14	41%
医療機関及び自治体以外の看護師又は保健師が指導等を実施	34	0	0%
その他	34	8	24%



Q35.肺がん検診で撮影した胸部X線画像の貸し出しは実施していますか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

選択肢	有効回答	回答数	割合
実施している	34	29	85%
実施していない	34	3	9%



2.2.9 石綿ばく露労働者等に対する健康診断の実態調査

アスベスト作業従事者については、労働安全衛生法（労働安全衛生規則、石綿障害予防規則）及びじん肺法によって健康診断を実施することが事業者には義務づけられている。また、厚生労働省はアスベスト作業等を行っていた事業場に対し、退職者を把握し、把握された退職者（健康管理手帳所持者を除く。）に対する石綿健康診断の実施に努めるよう要請している。

アスベスト作業従事者に対する健康診断の実態については不明な点も多く、これまでに行われてきた石綿ばく露労働者等に対する健康診断の実施内容を把握するために、文献データベースによる文献検索を行った。なお、健診機関におけるアスベスト健診の実施状況をヒアリングしたが、法令に基づく健診を行っているという回答しか得られなかった。

（１）文献検索

文献データベース（医学中央雑誌）を利用して、アスベスト・石綿・検診・健診のキーワードを含む文献（原著論文、解説、会議録、症例報告など）を検索した。その結果、328報が抽出され、症例報告等を除外した180報について要旨を確認し、入手可能であった112報を整理した。最終的に内容が重複する22報を除外した90報の概要を整理した。文献概要は巻末資料に示すとおりである。

（２）文献概要

文献の種別は原著論文28報、解説2報、会議録60報であった。

原著論文28報のうち、22報は石綿作業従事者、石綿健康管理手帳取得者を対象とした報告で、1報（文献No.15）は石綿外来・石綿健診の全国実態調査の報告であった。一般住民を対象とした報告は熊本県（2,3）、岡山県（4,5）、神奈川県（13）であり、いずれも胸部CT検査が行われていた。

解説2報は、肺がん検診を利用したアスベストスクリーニング検診の取り組みに関する広島県（29）の報告（図2-2-9参照）、アスベスト中皮腫研究型検診の取り組み（30）であった。

会議録60報のうち、48報は石綿作業従事者、石綿健康管理手帳取得者を対象とした報告で、1報（49）はアスベスト疾患センター実態調査の報告であった。一般住民を対象とした報告は大阪府（43）、奈良県（45,70）、岡山県（58,59）、北海道（65）、東京都（85）、兵庫県（87）、厚生労働省がん臨床研究事業JGSARD研究（77,79,82）であり、7報で胸部CT検査が行われていた。東京都（85）は大田区で実施されているアスベストフォローアップ検診の報告で、平成20年に実施したアスベスト健康調査又は平成21年度以降のアスベストフォローアップ検診において胸膜プラークの所見のあった方及びアスベスト環境ばく露を心配され、検診日現在大田区にお住まいの方を対象に問診、胸部エックス線二方向撮影を実施している。

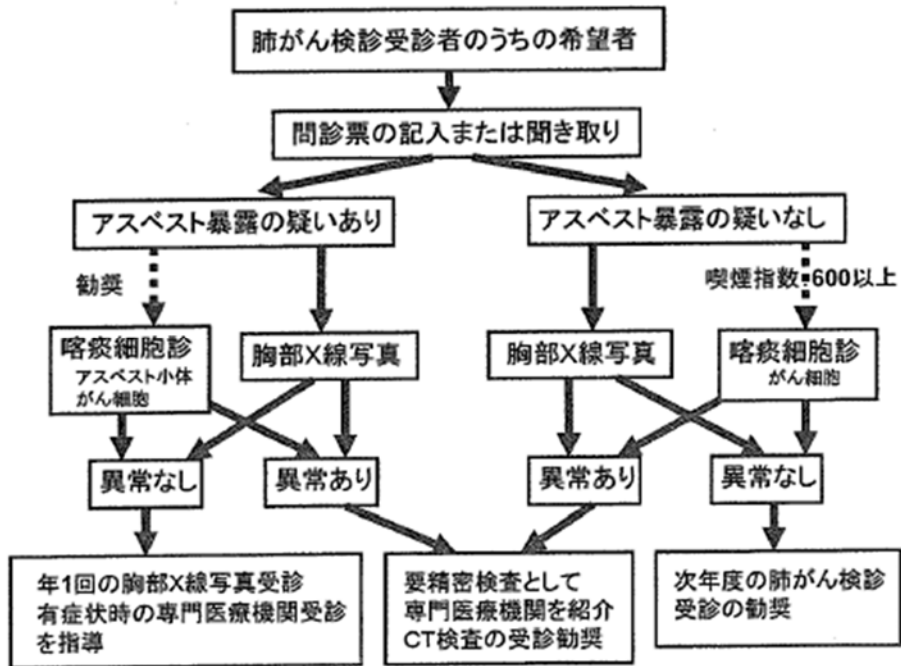


図 2-2-9 広島県における肺がん検診を利用したアスベストスクリーニング検診
 (出典：広島医学 2005;58(11):598-606「アスベスト汚染と広島県における健康管理」)

3．転居者を対象とした調査

3.1 調査内容

「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査計画書」(平成 27 年 3 月 環境省)に準じて、転居者を対象とした調査を実施した。

なお、調査実施に際し、以下の準備を行った。

- ・書類(説明書、申請書、同意書)の作成
- ・転居者への周知
- ・申請受付、問合せ対応
- ・問診の実施
- ・医療機関調整、受診票交付
- ・検査
- ・集計及び解析

3.2 調査結果

「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査計画書」(平成 27 年 3 月 環境省)に準じて、転居者を対象とした調査を実施した。

(1) 調査書類の作成

調査の説明書、申請書及び同意書は巻末資料に示すとおりである。

(2) 転居者への周知

石綿の健康リスク調査対象地域において、既に第 2 期調査に参加した者(約 5,000 名)に調査説明書を配布し、調査対象地域から転居した親類、知人等への呼びかけをお願いした。また、調査について環境省ホームページや自治体ホームページに掲載した。

(3) 申請受付、問合せ対応

本調査専用のフリーダイヤルを開設し、申請受付や問合せに対応した。

(4) 問診の実施

本調査で使用した問診票は巻末資料に示すとおりである。

問診は看護師、保健師等が行い、呼吸器疾患等の既往歴、本人・家族の職歴、居住歴、通学歴、喫煙の有無などを聞き取った。なお、問診を行う前に、以下の資料を利用して教育研修を行った。

- ・石綿と健康被害(2016 年 10 月版 環境再生保全機構パンフレット)
- ・石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査計画書
(平成 27 年 3 月 環境省)
- ・石綿ばく露歴把握のための手引き
(平成 18 年 10 月 石綿に関する健康管理等専門家会議)
- ・厚生労働省動画チャンネル 石綿関連疾患診断のポイント

(5) 医療機関との調整、受診券の交付

本調査で使用した受診券は巻末資料に示すとおりである。

申請者が最寄りのアスベスト疾患センターを設置する労災病院等で検査を受けられるように受診票を交付した。

(6) 検査

本調査で使用した読影チェックシート、結果通知書は巻末資料に示すとおりである。

医療機関において、視診、問診等により検査実施の的確性を判断した上で、胸部CT検査を実施した。撮影条件等については「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査計画書」と同様とした。また、検査の結果、石綿関連疾患が疑われた場合、精密検査を実施した。

(7) 結果

本調査に関する問合わせ件数は146件で、申請数は99件であった。

受診者99人の居住歴等は表3-2-1～3に、ばく露歴分類と医学的所見の集計表は表3-2-4～11に示すとおりである。

表3-2-1 受診者の居住歴

居住歴	件数
大阪府泉南地域等	7(3)
尼崎市	56(22)
鳥栖市	3(2)
横浜市鶴見区	8(2)
羽島市	10(2)
奈良県	8(5)
北九州市門司区	6(6)
西宮市	1(1)
計	99(43)

()内は問診のみを実施した件数。

表3-2-2 受診者の現住地

現住地	件数	現住地	件数	現住地	件数
埼玉県	1(1)	三重県	1(0)	広島県	1(1)
千葉県	2(1)	滋賀県	1(1)	島根県	1(1)
東京都	5(1)	和歌山県	1(0)	福岡県	6(6)
神奈川県	10(3)	京都府	6(2)	沖縄県	2(2)
愛知県	4(2)	大阪府	13(5)		
岐阜県	7(1)	兵庫県	38(16)	計	99(43)

()内は問診のみを実施した件数。

表 3-2-3 検査受診者の受診医療機関

医療機関	件数
千葉労災病院	1
東京労災病院	1
関東労災病院	3
横浜労災病院	7
中部労災病院	2
関西労災病院	19
神戸労災病院	6
羽島市民病院	6
奈良医療センター	3
大阪がん循環器病予防センター	1
兵庫医科大学病院	7
計	56

表 3-2-4 平成 28 年度の項目別対象者数

調査対象者数 ¹	99
石綿ばく露の聴取を受けた者(受診者)	99
胸部CT検査を受けた者	56
うち 肺がん検診等を受けた(胸部X線画像を読影した)者	0
うち 試行調査対象外の方法で胸部線画像を取得し、読影した者	
保健指導を受けた者	0
平成28年度に受診カードを配布した者	22

1 同意書取得者数

表 3-2-5 平成 27 年度を受診カード等配布者についての平成 28 年度の状況

受診カード等(平成27年度配布者)	
胸部CT検査と肺がん検診を受けた者	35
胸部CT検査のみを受けた者	10
肺がん検診のみを受けた(胸部CT検査を受けなかった)者	20
胸部CT検査及び肺がん検診を受けなかった者	11
その他の健診等で胸部CT検査と胸部X線検査を受けた者	0
その他の健診等で胸部X線検査のみを受けた者	0
受診の有無を確認できなかった者	46

表 3-2-6 平成 28 年度石綿ばく露の聴取を受けた者の年齢階層別人数

	男	女	合計
40歳未満	0	1	1
40～49歳	6	8	14
50～59歳	5	7	12
60～69歳	23	24	47
70～79歳	11	11	22
80～89歳	1	2	3
90歳以上	0	0	0
合計	46	53	99

表 3-2-7 石綿ばく露の聴取を受けた者のばく露歴集計表

ばく露歴分類	ばく露歴					小計	合計
	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他		
ア						2	6
						1	
						0	
						1	
						1	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						1	
						0	
						0	
						0	
イ						0	5
						0	
						1	
						4	
						0	
ウ						0	16
						0	
						15	
						1	
エ						1	3
						2	
オ						69	69
合計	6	6	17	6	93	99	99

縦計については、重複計上により算定。

表 3-2-8 年齢階層・性別胸部CT検査所見

		合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
胸部CT 受診者	合計	56	0	6	8	29	12	1	0
	男性	24	0	1	3	14	6	0	0
	女性	32	0	5	5	15	6	1	0
石綿関連 所見(疑い を含む)実 人数	合計	16 (0) 28.6%	0 (0) -	1 (0) 16.7%	3 (0) 37.5%	8 (0) 27.6%	4 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	5 (0) 20.8%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (0) 33.3%	2 (0) 14.3%	2 (0) 33.3%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	11 (0) 34.4%	0 (0) -	1 (0) 20.0%	2 (0) 40.0%	6 (0) 40.0%	2 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
胸水貯 留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
胸膜ブ ラーク(胸 膜肥厚斑)	小計	13 (0) 23.2%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	3 (0) 37.5%	7 (0) 24.1%	3 (0) 25.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	3 (0) 12.5%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (0) 33.3%	1 (0) 7.1%	1 (0) 16.7%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	10 (0) 31.3%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	2 (0) 40.0%	6 (0) 40.0%	2 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
びまん 性胸膜肥 厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
胸膜腫 瘍(中皮 腫)疑い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
肺野の 間質影	小計	2 (0) 3.6%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 3.4%	1 (0) 8.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	1 (0) 4.2%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 16.7%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 6.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
円形無 気肺	小計	1 (0) 1.8%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 8.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 16.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
肺野の 腫瘍状陰 影(肺がん 等)	小計	3 (0) 5.4%	0 (0) -	1 (0) 16.7%	0 (0) 0.0%	1 (0) 3.4%	1 (0) 8.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	2 (0) 8.3%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 7.1%	1 (0) 16.7%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) -	1 (0) 20.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
リンパ 節の腫大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
胸膜ブ ラーク且 つ肺野 の間質影 あり	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -

()内は疑い(内数)

～ で複数の所見が出た者は全て計上している。～ の合計は実人数とは一致しない

右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)

小数点以下第2位を四捨五入

胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表 3-2-9 ばく露歴分類・性別胸部CT検査所見

		合計	ア.主に 直接職歴		イ.主に 間接職歴		ウ.主に 家庭内ばく 露		エ.主に 立ち入り等		オ.その他	
胸部CT 受診者	合計	56	3	1	9	3	40					
	男性	24	2	1	3	2	16					
	女性	32	1	0	6	1	24					
石綿関連 所見(疑い を含む)実 人数	合計	16 (0) 28.6%	1 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	4 (0) 44.4%	1 (0) 33.3%	10 (0) 25.0%					
	男性	5 (0) 20.8%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	4 (0) 25.0%					
	女性	11 (0) 34.4%	1 (0) 100.0%	0 (0) -	3 (0) 50.0%	1 (0) 100.0%	6 (0) 25.0%					
胸水貯 留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
胸膜プ ラーク(胸 膜肥厚斑)	小計	13 (0) 23.2%	1 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	2 (0) 22.2%	1 (0) 33.3%	9 (0) 22.5%					
	男性	3 (0) 12.5%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	3 (0) 18.8%					
	女性	10 (0) 31.3%	1 (0) 100.0%	0 (0) -	2 (0) 33.3%	1 (0) 100.0%	6 (0) 25.0%					
びまん 性胸膜肥 厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
胸膜腫 瘍(中皮 腫)疑い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
肺野の 間質影	小計	2 (0) 3.6%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	2 (0) 5.0%					
	男性	1 (0) 4.2%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 6.3%					
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 4.2%					
円形無 気肺	小計	1 (0) 1.8%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 2.5%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 4.2%					
肺野の 腫瘤状陰 影(肺がん 等)	小計	3 (0) 5.4%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	2 (0) 22.2%	0 (0) 0.0%	1 (0) 2.5%					
	男性	2 (0) 8.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 33.3%	0 (0) 0.0%	1 (0) 6.3%					
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	1 (0) 16.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
リンパ 節の腫大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
胸膜プ ラーク且 つ肺野 の間質影 あり	小計	1 (0) 1.8%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 2.5%					
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%					
	女性	1 (0) 3.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 4.2%					

()内は疑い(内数)

～ で複数の所見が出た者は全て計上している。 ～ の合計は実人数とは一致しない

右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)

小数点以下第2位を四捨五入

胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表 3-2-10 平成 28 年度に胸部 CT 検査を受診した者のうち、
2 年目以降で希望して胸部 CT 検査を受けた者

「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年の検査等	所見の有無	人数(人)
胸部CT検査	所見 ¹ 有り	14
	所見無し	30
肺がん検診(受診カード有)	所見有り	12
	所見無し	25
保健指導	所見有り	0
	所見無し	0

1 胸水貯留、胸膜ブランク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影、リンパ節の腫大(~)

表 3-2-11 平成 28 年度に胸部 CT 検査を受けた者のうち、
「リスク調査」または「試行調査」において胸部 CT 検査を受けた者

	結果	「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年 ¹		
		H18	H19	H20
前年度等の検査結果から胸部CT検査の受診勧奨をされた者	所見 ² 有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
その他、本人が希望した人数	所見有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
計		0	0	0

「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年 ¹						
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
0	0	0	0	0	1	13
0	0	0	0	0	2	23
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	1	0	3
0	0	0	1	1	3	39

1 平成26年度リスク調査参加者は原則全員胸部CT検査受診としている。
2 胸水貯留、胸膜ブランク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影、リンパ節の腫大(~)

(8) 調査の実施体制

本調査の実施体制の概要は以下のとおりである。

< 実施体制 >

1 実施担当課

調査事業分析室

2 実施人材 (委託分は除く)

主担当 (うち非正規)

副担当 (うち非正規)

受付 一人あたりの平均所要時間

石綿ばく露の聴取 一人あたりの平均所要時間

胸部CT検査 一人あたりの平均所要時間

保健指導 一人あたりの平均所要時間

その他 一人あたりの平均所要時間

(契約・報告書の作成等の事務)

2.1 実施人材 (事務) に関する課題

2.1.1 実施に必要な人員の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由
なし

2.1.2 新たな課題

課題	取り組み事例
なし	

3 実施時期（募集～保健指導までの日）

平成28年8月1日 ~ 平成29年3月31日

募集～保健指導の実施時期の概要

4月	5月	6月
数量確認		印刷 病院調整

7月	8月	9月
自治体へ送付	募集開始	病院受診開始

10月	11月	12月
		募集終了

1月	2月	3月
		病院受診終了

4 試行調査に関する委託業務

委託先	委託内容
アスベスト疾患センターほか	胸部CT検査、読影、精密検査

5 事業スキーム

5.1 実施日数

(受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、肺がん検診、保健指導まで、受診者に足を運んでもらう回数)

1日 2日 3日 4日 5日

2日

その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合を除く

5.2 実施項目

受付

何日目の実施か

実施場所

名称：

調査事務局

場所の選定理由：

フリーダイヤルによる受付のため

場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

石綿ばく露の聴取

何日目の実施か

1日目

実施場所

名称：

自宅

最寄駅

職場付近

場所の選定理由：

参加者の希望

胸部CT検査

何日目の実施か

2日目

実施場所

名称：

アスベスト疾患センターほか

場所の選定理由：

参加者の希望

場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

保健指導

何日目の実施か（1日目～5日目）

実施場所

名称：

場所の選定理由：

本人自宅へ受診カード、保健指導パンフレットの送付により情報提供を行う

場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

胸部X線検査（肺がん検診等からの取り寄せ）

肺がん検診から胸部X線画像を取り寄せる場合

いずれの項目と同時に実施しているか。またその理由

（受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、保健指導）

項目：

理由：

その他：

胸部CT検査

何日目の実施か

2日目

実施場所

名称：

アスベスト疾患センターほか

場所の選定理由：

参加者の希望

場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

保健指導

何日目の実施か（1日目～5日目）

実施場所

名称：

場所の選定理由：

本人自宅へ受診カード、保健指導パンフレットの送付により情報提供を行う

場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

胸部X線検査（肺がん検診等からの取り寄せ）

肺がん検診から胸部X線画像を取り寄せる場合

いずれの項目と同時に実施しているか。またその理由

（受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、保健指導）

項目：

理由：

その他：

(同時に実施していない場合)どのタイミングで実施しているか。また、その理由

項目：	胸部CT検査までに			
理由：	胸部CT検査の画像とともに読影するため(ただし、自治体による肺がん検診の実施時期等が異なり、うまく実行できない場合がある)			
その他：				

試行調査に合わせて既存の肺がん検診のスキームのアレンジを行ったか。
行った場合は、行った内容とその理由を記載。

内容：	
理由：	
その他：	

その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合
どのタイミングで実施しているか。また、その理由

理由：				
その他：				

5.3 事業スキームに関する課題及び取り組み事例

5.3.1 受診者の来所回数削減のための対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
電話、郵送による対応を基本としており、これ以上の削減は難しい

5.3.2 新たな課題

課題	取り組み事例

< 周知 >

1 実施時期

平成28年7月1日

~

--

2 実施者（複数回答可）

正職員 非正規職員 委託

その他

調査対象自治体に協力依頼

3 周知方法（複数回答可）

広報誌 ホームページ チラシ 新聞折り込み

ホームページ

チラシ

（個別）

対象者： リスク調査、試行調査参加者

（その他）

--

4 周知に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例

< 申し込み >

1 実施時期

平成28年8月1日

~

平成28年12月22日

2 実施者（複数回答可）

正職員

非正規職員

委託

正職員

3 実施方法（複数回答可）

電話

FAX

郵便

インターネット

窓口

電話

その他

4 申し込み方法に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例

< 石綿ばく露の聴取 >

1 実施時期（複数回答可）

決められた日 受診者任意の日

受診者任意の日

2 実施者

事務（ 正規 非正規 委託） 保健師（ 正規 非正規 委託）
 看護師（ 正規 非正規 委託） 医師（ 正規 非正規 委託）
 その他（ ）（ 正規 非正規 委託）

（その他）

看護師

正規		

3 石綿ばく露の聴取に関する課題及び取り組み事例

3.1 石綿ばく露の記憶が曖昧なため、聴取が難しい場合の対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
実施前に事前に整理するように依頼し、毎年変更（思い出し）がないか確認

3.2 新たな課題

課題	取り組み事例

< 胸部CT検査 >

1 実施方法

1.1 実施日（複数回答可）

集団（決められた日）

個別（任意で受診できる日）

個別
可

（場所の選択）

（場所の選択）

1.2 画像の形式（複数回答可）

フィルム

デジタル

確認困難

その他（ ）

デジタル

（その他）

--

2 胸部CT検査に関する課題及び取り組み事例

2.1 医療機関の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由
調査参加希望者の居住地に合わせて医療機関を設定している

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例

< 胸部X線画像の取り寄せ >

1 肺がん検診からの取り寄せ

1.1 肺がん検診機関からの取り寄せ方法

依頼方法

自治体が肺がん検診機関に依頼 受診者本人が肺がん検診機関に依頼
 胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関が同一のため、取り寄せ依頼が発生しない
 その他

(その他)

受診者本人が医療機関から取り寄せ

読影先への胸部X線画像の送付方法 (取り寄せ依頼が発生する場合)

肺がん検診機関から読影先に送付 本人が読影先に送付または持参
 その他

(その他)

現状、本人に保管を依頼

胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関を同一の機関で行う事が可能か。

(取り寄せが発生する場合)

可 不可

その理由:

アスベスト疾患センターが肺がん検診を行っているかどうか不明

(可能な場合は、可能であるが行わない理由。不可能な場合は不可能な理由)

肺がん検診の実施部署

試行調査実施部署と同じ 試行調査実施部署と別

試行調査実施部署と別

1.2 肺がん検診の実施日

集団 (決められた日) 個別 (任意で受診できる日)

--

 (場所の選択)

--

1.3 肺がん検診の撮影条件 (複数回答可)

直接、間接が混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、直接撮影・間接撮影・確認困難それぞれ選択。

直接撮影 間接撮影 確認困難 その他 ()

確認困難

(その他)

居住自治体による

1.4 肺がん検診の画像の形式（複数回答可）

フィルム デジタル 確認困難 その他（ ）

フィルム、デジタルが混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、フィルム・デジタル・確認困難それぞれ選択。

	確認困難
（その他）	居住自治体による

2 その他の検診からの取り寄せ

2.1 その他の検診からの取り寄せ方法

依頼方法

自治体が医療機関等に依頼 受診者本人が医療機関に依頼
 その他

（その他）	受診者本人が医療機関に依頼

読影先への胸部X線画像の送付方法（取り寄せ依頼が発生する場合）

医療機関等から読影先に送付 本人が読影先に送付または持参 その他

（その他）	現状、本人が保管を依頼
-------	-------------

3 胸部X線画像取り寄せに関する課題及び取り組み事例

3.1

肺がん検診等との連携によって、個々の医療機関との契約等を行う手続きが発生したことによる事務量増加への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

3.2 確実な胸部X線画像取り寄せに関する対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
開始当初、肺がん検診における画像提供依頼をした場合に自治体、医療機関からクレーム等が多く発生し、入手可能な対象者に依頼している状況

3.3 新たな課題

課題	取り組み事例

< 読影 >

1 実施方法（複数回答可）

胸部CT検査実施医療機関 その他の医療機関 読影委員会の設置 その他

胸部CT検査実施医療機関

2 読影の実施に関する課題及び取り組み事例

2.1 石綿関連所見/疾患に詳しい医師の不足への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例

< 保健指導 >

1 実施時期（複数回答可）

決められた日 任意で受診できる日

（場所の選択）

（場所の選択）

2 実施者（複数回答可）

保健師（ 正規 非正規 委託 ） 医師（ 正規 非正規 委託 ）
 その他（ ）（ 正規 非正規 委託 ） その他は職種を記載

（その他）

事務

正規		

3 実施方法

個別 個別と集団 その他

（その他）

（具体的な対象者）

個別

集団

その他

郵送による情報提供
全ての対象者

4 保健指導の実施に関する課題及び取り組み事例

4.1 保健指導充実のための取り組み事例

取り組み事例又は対応できなかった理由

4.2 新たな課題

課題	取り組み事例

<フォローアップ>

1 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップ

1.1 実施方法（受診カード配布者の肺がん検診受診の把握）（複数回答可）

電話 FAX 郵便 E-mail その他（ ）

郵便

（その他）

--

1.2 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップに対する課題

課題	取り組み事例

2 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握（複数回答可）

電話 FAX 郵便 E-mail その他（ ）

郵便

（その他）

--

2.1 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握についての課題

課題	取り組み事例

< 受診者への支払い方法 >

1 肺がん検診の自己負担分の支払い

1.1 支払い方法

償還払い チケット その他 ()

(その他)

償還払い

1.2 肺がん検診の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例

2 精密検査の自己負担分の支払い方法

2.1 支払い方法

償還払い チケット その他 ()

(その他)

償還払い

2.2 精密検査の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例

4.まとめ及び今後の課題

4.1 試行調査の実施結果等を踏まえた検討

平成18年度～平成26年度に実施された石綿の健康リスク調査の結果に加え、今年度に収集した肺がん検診・職場検診の実態調査、石綿ばく露者に対する健康診断の実態調査及び試行調査により得られた情報を分析し、石綿ばく露者の健康管理のあり方の検討に必要な情報を整理する必要がある。

4.2 転居者を対象とした調査

検査を受診した56名のうち石綿関連所見を有する者は16名であった。そのうち、3名が要精密検査（胸膜プラーク＋肺野の間質影、肺野の間質影＋肺野の腫瘤状陰影、肺野の腫瘤状陰影疑い）であり、精密検査結果については問い合わせ中である。

胸膜プラーク : 13名

肺野の間質影 : 2名

円形無気肺 : 1名

肺野の腫瘤状陰影 : 3名

本調査に関する問合せについては、「異常なし」であった者からの受診の必要性に関する意見があった。

リサイクル適性の表示:印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。